

「2022年卒学生の就職活動の実態に関する調査」

公益社団法人全国求人情報協会の専門部会である「新卒等若年雇用部会」は、調査・研究活動の一環で、民間企業・団体への就職活動を経験した全国の大学4年生・大学院2年生を対象とするアンケート調査を実施し2022年卒学生の就職活動実態をまとめましたので、ご報告します。※スケジュールの詳細はP51に掲載しております。

TOPICS

- 民間企業・団体への就職活動を経験した大学生・大学院生の9割以上が3月時点で進路を確定。昨年度に比べて大学生の就職確定者の割合は増加しているが、大学院生では減少している。(P2)
- 就職予定先に「勤続志向」だった学生は、大学生は7割後半、大学院生は8割後半で昨年度より増加。(P4)
- 就職予定先の従業員規模は、大学生は「5000人以上」、大学院生は「1000人～4999人」「5000人以上」の割合が増加。北海道・東北、中国・四国の大学生の「5000人以上」の割合が大幅に増加。(P9)
- 大学生・大学院生ともに「当初から第1志望(群)だった」の割合が最高、大学生ではやや増加している。(P11)
- 就職活動の実施期間は2021年調査と比べると、大学生は「0～3ヶ月」が増加している。(P15)
- 就職予定先に「勤続志向」であった学生は、「卒業後のキャリアや就職に関する授業」が役立ったと評価している。(P32)
- 大学低学年(1～2年)時にキャリア教育を受けている学生は、受けていない学生よりも、就職活動開始当初(P34)および就職予定先を選んだ時点(P35)での自己分析や企業分析等への自己評価が高い。
- インターンシップ・1day仕事体験の参加時期は、大学生で「大学3年生8月」の割合が最も高い。初めて参加した時期は大学生・大学院生ともに「大学3年/大学院1年の8月頃」の割合が最も高い。(P40)

CONTENTS

①卒業後の進路確定状況..... 2	⑩就職予定先を選ぶ際の重視点..... 25
②就職予定先への納得度..... 3	⑪在学中に実施したこと..... 26
③就職予定先への就業意向..... 4	⑫就職活動による各活動への支障状況..... 27
④就職予定先への評価..... 5	⑬自己分析・企業分析等への自己評価..... 28
⑤就職予定先の企業状況..... 7	⑭就職予定先に対するイメージ..... 30
⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間..... 12	⑮大学・大学院の就職支援で役立った点..... 32
⑦就職活動の各プロセスの活動量..... 16	⑯自己分析・企業分析等への自己評価..... 34
⑧知りたかった情報、知ることができた情報..... 21	⑰従業員規模の志向..... 36
⑨就職予定先に関する情報源..... 23	⑱インターンシップ・1day仕事体験の参加状況..... 40

●調査の概要

- 1) 調査目的: 大学生や大学院生の就職活動の実態を把握し、関係各位の参考に供する。
- 2) 調査対象: 民間企業・団体への就職活動を在学中に経験した(*全国の大学4年生・大学院2年生 1,850人 *就職活動の経験者を、プレエントリー(資料・採用情報の請求)、説明会、書類選考、対面選考のいずれか1つ以上の経験者と定義した。当該の条件を満たす1,784人で集計を実施。
- 3) 調査時期: 2022年3月10日～30日
- 4) 調査方法: インターネット調査(調査実施機関:株式会社マクロミル)ーマクロミル社のモニターにスクリーニング調査を行って対象者を抽出し、学校種別、性別、専攻系統(文理)の構成比が母集団に近づくよう、「文部科学省学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行った。

◀地域区分の内訳・調査集計の留意点▶
P51「調査備考」を参照のこと。

<回収数>

	(人)
大学生	1,644
文系	1,097
国公立	135
私立	962
理系	547
国公立	176
私立	371
大学院生	140

※ウェイトバック集計を行っているため、N数の内訳を足し合わせても合計と一致しない場合がある。

お問い合わせ先／公益社団法人全国求人情報協会 業務部・久岡幸輔 Tel03-3288-0881 cvousa@zenkyukyo.or.jp
調査リリース資料は、こちらからダウンロードできます。 https://www.zenkyukyo.or.jp/2022_shinsotsu_release/

①卒業後の進路確定状況

**民間企業・団体への就職活動を経験した大学生・大学院生の9割以上が3月時点で進路を確定。
昨年度に比べて大学生の就職確定者の割合は増加しているが、大学院生では減少している。**

民間企業・団体への就職活動経験者は、調査を実施した3月時点では、大学生・大学院生ともに9割以上が卒業後の進路を確定している。

2021年調査と比べると、大学生では就職確定者が増加しており、大学院生では減少している。特に理系の私立大学生や、中国・四国の大学生では就職確定者が増加している。(図表1)

図表1 卒業後の進路確定状況(単一回答、単位=%)

	n=	民間企業・団体に就職する	民間企業・団体以外(公務員、教員などに就職する)	就職確定者・計	起業する	大学院などへ進学する	留学する	パート、アルバイトなどの臨時的収入を目的とした仕事に就く	留年するので、卒業しない	その他	進路確定者・計	まだ進路が確定していない
大学生	1,644	80.3 (4.5)	7.2 (2.0)	<u>87.5</u> (6.6)	0.5 (-0.2)	4.4 (-0.1)	0.1 (-0.6)	3.0 (0.0)	0.8 (-0.4)	0.9 (-0.1)	<u>97.1</u> (5.2)	2.9 (-5.2)
文系	1,097	81.3 (2.3)	8.0 (2.3)	<u>89.3</u> (4.6)	0.4 (-0.5)	1.8 (0.7)	0.1 (-0.7)	3.3 (0.3)	0.8 (-0.1)	1.0 (0.0)	<u>96.8</u> (4.4)	3.2 (-4.4)
国公立	135	78.2 (1.4)	14.6 (2.4)	<u>92.8</u> (3.7)	1.0 (0.7)	2.2 (-1.0)	- (-0.2)	0.7 (0.2)	0.2 (-2.2)	1.0 (0.2)	<u>97.8</u> (1.5)	2.2 (-1.5)
私立	962	81.7 (2.5)	7.1 (2.2)	<u>88.8</u> (4.7)	0.4 (-0.7)	1.8 (0.9)	0.1 (-0.8)	3.7 (0.4)	0.9 (0.2)	1.0 (0.0)	<u>96.7</u> (4.7)	3.3 (-4.7)
理系	547	78.5 (9.0)	5.4 (1.5)	<u>83.9</u> (10.5)	0.6 (0.4)	9.5 (-1.8)	- (-0.3)	2.3 (-0.5)	0.7 (-1.0)	0.6 (-0.4)	<u>97.6</u> (7.0)	2.4 (-7.0)
国公立	176	71.5 (10.2)	6.4 (-4.3)	<u>77.9</u> (5.8)	1.7 (1.7)	13.6 (-1.3)	- (-0.4)	4.4 (2.1)	2.0 (1.7)	- (-)	<u>99.7</u> (9.6)	0.3 (-9.6)
私立	371	81.8 (9.3)	5.0 (3.6)	<u>86.8</u> (12.9)	- (-0.2)	7.6 (-2.3)	- (-0.2)	1.2 (-1.8)	- (-2.1)	0.9 (-0.5)	<u>96.6</u> (5.8)	3.4 (-5.8)
北海道・東北	121	64.2 (-10.7)	14.2 (12.6)	<u>78.4</u> (1.9)	- (-)	10.3 (4.2)	- (-0.4)	5.8 (5.3)	1.1 (0.4)	- (-)	<u>95.6</u> (11.5)	4.4 (-11.5)
関東	669	82.0 (6.7)	6.4 (1.1)	<u>88.4</u> (7.8)	0.5 (-0.7)	4.6 (0.5)	0.2 (-0.4)	2.1 (0.4)	0.3 (-1.4)	1.1 (0.5)	<u>97.3</u> (6.6)	2.7 (-6.6)
中部	316	87.3 (11.5)	5.3 (-3.2)	<u>92.5</u> (8.3)	- (-0.3)	3.3 (-0.7)	- (-)	2.2 (-1.0)	1.0 (0.5)	- (-1.7)	<u>99.1</u> (5.1)	0.9 (-5.1)
近畿	325	79.5 (4.2)	5.2 (1.7)	<u>84.7</u> (5.9)	1.0 (0.8)	3.3 (-1.8)	- (-1.7)	3.5 (-2.5)	1.9 (0.6)	1.1 (-0.8)	<u>95.5</u> (0.6)	4.5 (-0.6)
中国・四国	85	74.4 (0.3)	16.6 (12.9)	<u>91.0</u> (13.2)	- (-)	5.5 (-3.4)	- (-)	0.9 (-3.8)	- (-)	- (-0.9)	<u>97.4</u> (5.1)	2.6 (-5.1)
九州	129	76.1 (-8.4)	7.6 (1.4)	<u>83.7</u> (-7.0)	0.6 (0.3)	2.3 (2.0)	- (-)	6.7 (5.0)	- (-)	2.7 (2.7)	<u>96.0</u> (3.0)	4.0 (-3.0)
大学院生	140	80.7 (-5.5)	6.4 (3.3)	<u>87.1</u> (-2.2)	- (-)	3.6 (1.7)	- (-1.3)	0.7 (0.1)	1.4 (0.2)	0.7 (-0.5)	<u>93.6</u> (-2.1)	6.4 (2.1)

* カッコ内は2021年とのスコア差を掲載。

* 2021年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

②就職予定先への納得度

就職確定者の就職予定先への納得度は、大学生・大学院生ともに9割強で、引き続き高い水準。文系の国公立大学生、理系の私立大学生で納得度が増加している。

就職確定者の就職予定先に対して納得している・計(*)は、大学生・大学院生ともに9割強となっている。属性別にみると、文系・理系ともに国公立大学生の割合が高い。

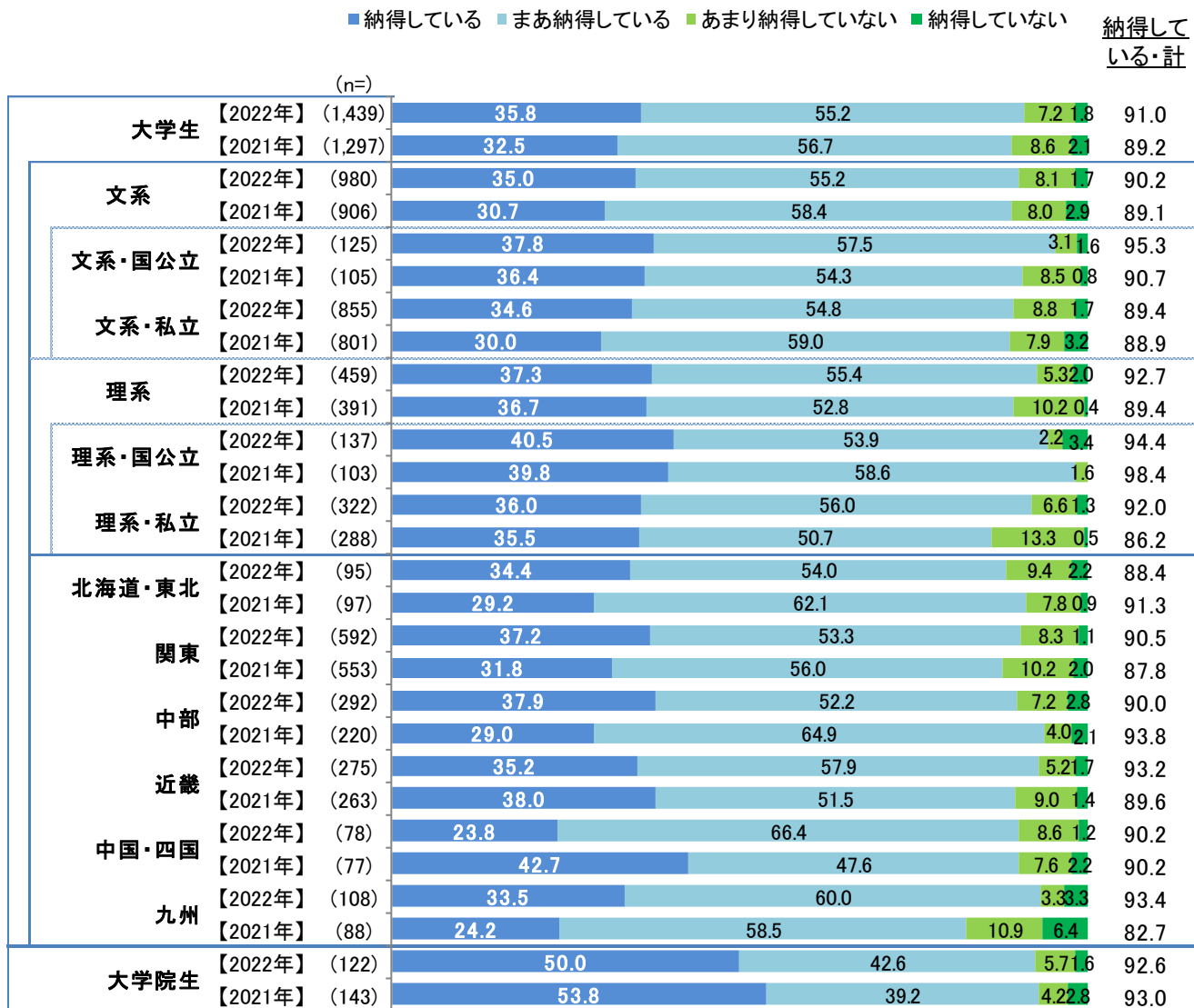
2021年調査と比べると、大学生では納得している・計がやや増加しており、特に文系の国公立大学生や理系の私立大学生は増加している。

地域別にみると、特に九州の大学生は納得している・計が大幅に増加している。(図表2)

*「納得している」「まあ納得している」の計

図表2 就職確定者の就職予定先への納得度(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース



※納得している・計:「納得している」+「まあ納得している」

③就職予定先への就業意向

就職予定先に「勤続志向」であった学生は、大学生では7割後半、大学院生では8割後半。特に文系の国公立大学生の「勤続志向」が、昨年度に比べて増加している。

就職確定者の就職予定先への勤続志向・計(*1)は、大学生では7割後半、大学院生では8割後半となっている。2021年調査と比べると、特に文系の国公立大学生は勤続志向が増加しており、理系の国公立大学生は減少している。転職志向・計(*2)は、大学生では2割強、大学院生では1割強となっている。大学生の「すぐに転職したいと思っている」は、わずか4%程度である。(図表3)

*1「その企業・団体等ですべて仕事を続けたい」「当面はその企業・団体等で仕事を続けたい」の計

*2「転職することも視野に入れている」「すぐに転職したいと思っている」の計

図表3 就職確定者の就職予定先への勤続志向・転職志向(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース

		(n=)	■その企業・団体等ですべて仕事を続けたい ■当面はその企業・団体等で仕事を続けたい ■転職することも視野に入れている ■すぐに転職したいと思っている				勤続 志向・計	転職 志向・計
大学生	【2022年】	(1,439)	31.9	46.3	18.2	3.7	78.1	21.9
	【2021年】	(1,297)	28.7	45.9	21.7	3.8	74.5	25.5
文系	【2022年】	(980)	29.0	47.1	20.3	3.7	76.0	24.0
	【2021年】	(906)	26.8	43.7	25.2	4.3	70.5	29.5
文系・国公立	【2022年】	(125)	34.0	49.3	14.3	2.3	83.3	16.7
	【2021年】	(105)	22.3	52.1	24.8	0.8	74.4	25.6
文系・私立	【2022年】	(855)	28.2	46.8	21.2	3.8	75.0	25.0
	【2021年】	(801)	27.4	42.6	25.2	4.8	70.0	30.0
理系	【2022年】	(459)	38.1	44.6	13.6	3.8	82.6	17.4
	【2021年】	(391)	33.0	50.8	13.7	2.5	83.8	16.2
理系・国公立	【2022年】	(137)	43.1	43.1	11.2	2.6	86.2	13.8
	【2021年】	(103)	42.4	48.8	7.7	1.1	91.2	8.8
理系・私立	【2022年】	(322)	35.9	45.2	14.6	4.3	81.1	18.9
	【2021年】	(288)	29.6	51.5	15.9	3.0	81.1	18.9
北海道・東北	【2022年】	(95)	28.9	51.1	17.6	2.4	80.0	20.0
	【2021年】	(97)	37.7	45.0	13.1	4.2	82.7	17.3
関東	【2022年】	(592)	31.3	44.1	20.1	4.4	75.5	24.5
	【2021年】	(553)	25.7	43.9	27.5	2.9	69.6	30.4
中部	【2022年】	(292)	36.5	46.5	11.3	5.8	83.0	17.0
	【2021年】	(220)	26.9	53.0	16.8	3.3	79.9	20.1
近畿	【2022年】	(275)	27.2	51.4	20.3	1.1	78.7	21.3
	【2021年】	(263)	29.7	47.2	17.6	5.4	76.9	23.1
中国・四国	【2022年】	(78)	36.9	45.1	17.0	1.0	82.0	18.0
	【2021年】	(77)	39.0	45.6	13.1	2.2	84.7	15.3
九州	【2022年】	(108)	32.8	40.9	22.0	4.2	73.8	26.2
	【2021年】	(88)	29.5	37.4	26.8	6.3	66.9	33.1
納得している	【2022年】	(515)	52.8	39.1	7.8	0.3	91.9	8.1
	【2021年】	(422)	45.6	42.9	10.5	1.0	88.5	11.5
まあ納得している	【2022年】	(795)	21.5	54.5	21.8	2.3	76.0	24.0
	【2021年】	(736)	22.2	52.4	23.3	2.1	74.6	25.4
納得・計	【2022年】	(1,309)	33.8	48.4	16.3	1.5	82.3	17.7
	【2021年】	(1,158)	30.7	48.9	18.6	1.7	79.7	20.3
納得していない・計	【2022年】	(130)	12.1	24.4	37.3	26.2	36.5	63.5
	【2021年】	(140)	11.5	20.5	47.1	20.9	32.0	68.0
大学院生	【2022年】	(122)	37.7	50.0	9.8	2.5	87.7	12.3
	【2021年】	(143)	35.7	48.3	14.0	2.1	83.9	16.1

※勤続志向・計:「その企業・団体等ですべて仕事を続けたい」+「当面はその企業・団体等で仕事を続けたい」

※転職志向・計:「転職することも視野に入れている」+「すぐに転職したいと思っている」

④就職予定先への評価

就職予定先への評価は、大学生で「理想通りの企業だと思う」「成長することができそうだ」のあてはまる・計が7割以上。昨年度に比べて多くの項目でやや増加している。

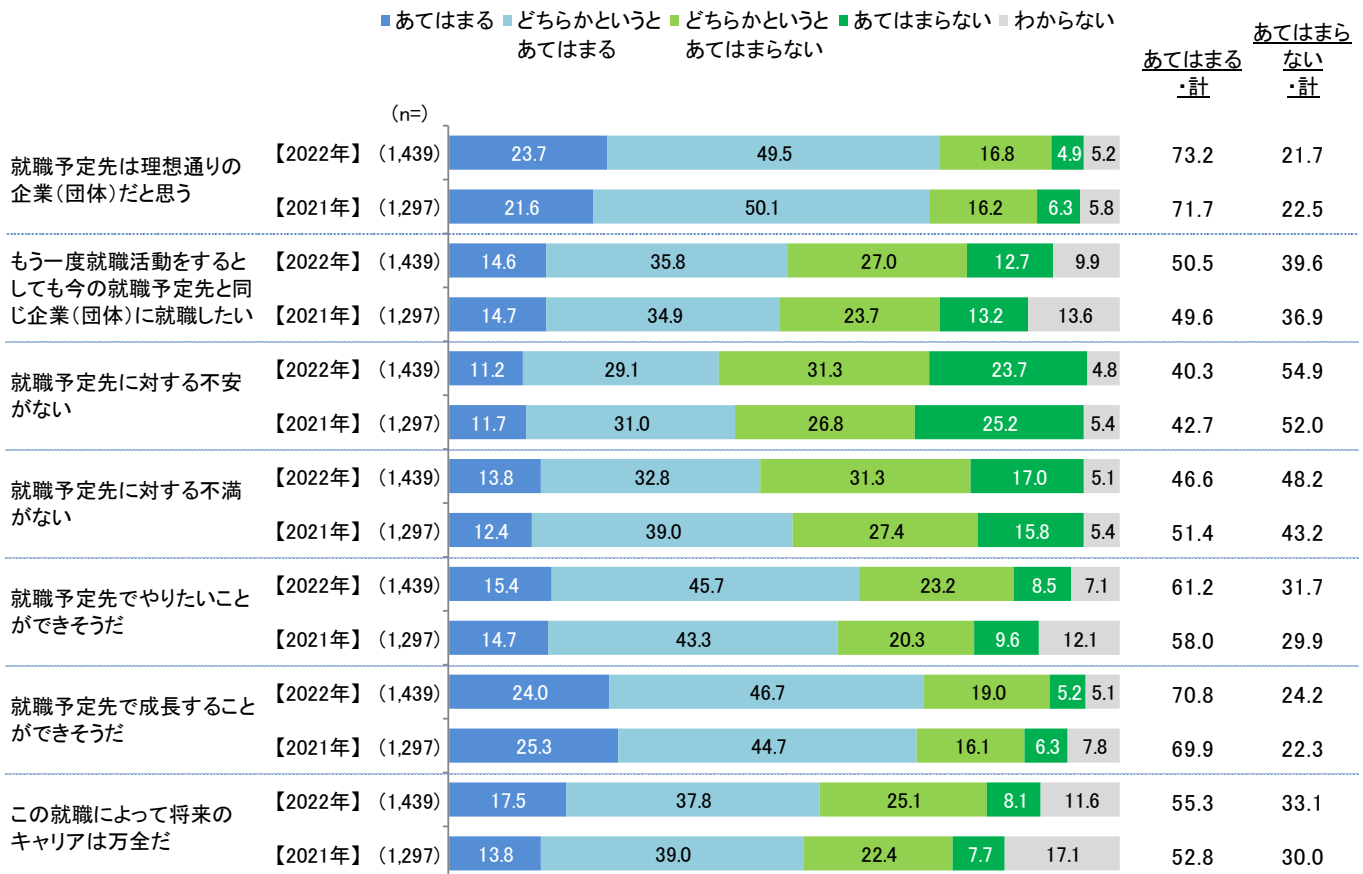
就職確定者における就職予定先への評価のあてはまる・計(*)は、大学生は「就職予定先は理想通りの企業だと思う」「就職予定先で成長することができそうだ」が7割以上、「就職予定先に対する不安がない」が約4割となっている。また、大学生よりも大学院生で「就職予定先は理想通りの企業だと思う」「就職予定先で成長することができそうだ」などの割合が高い。

2021年調査と比べると、大学生はほとんどの項目であてはまる・計が増加している。一方で、大学院生はやや減少している。(図表4-1～2)

*「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の計

図表4-1 【大学生】就職確定者の就職予定先への評価(各単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース



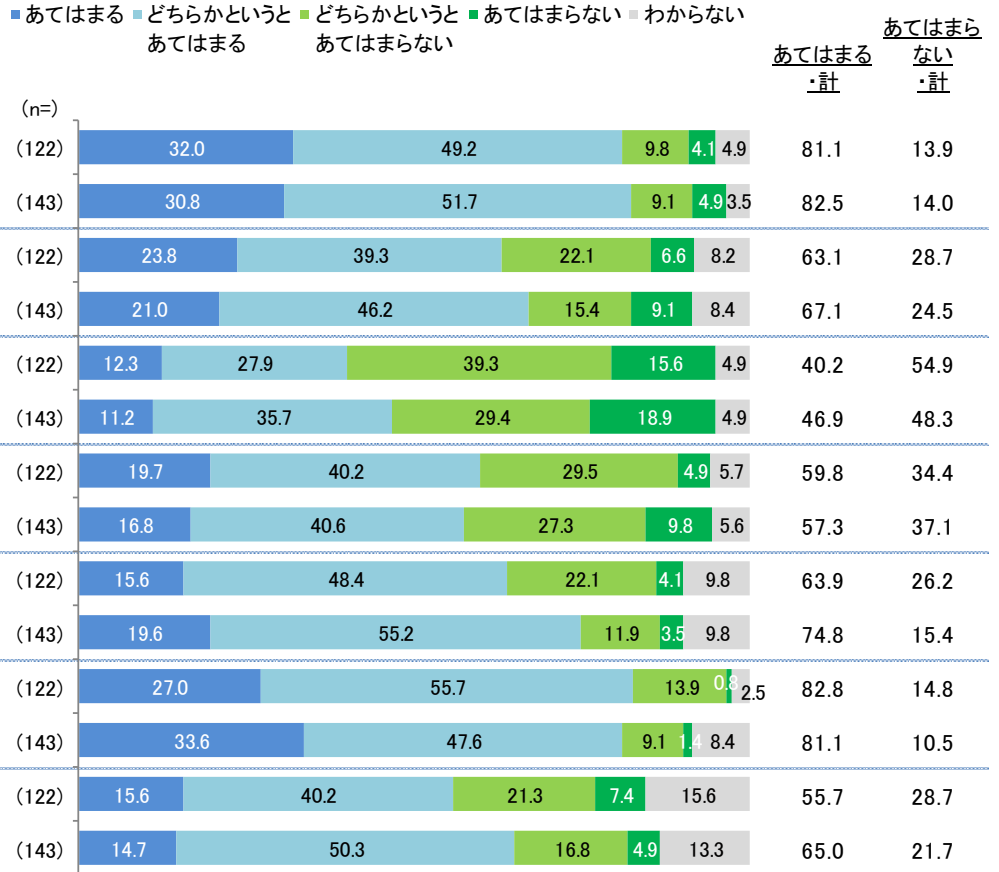
※あてはまる・計:「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」

※あてはまらない・計:「どちらかというにあてはまらない」+「あてはまらない」

④就職予定先への評価

図表4-2 【大学院生】就職確定者の就職予定先への評価(各単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース



※あてはまる・計:「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」

※あてはまらない・計:「どちらかというにあてはまらない」+「あてはまらない」

⑤就職予定先の企業状況

大学生は「情報通信業」「医療、福祉」「卸売業、小売業」、大学院生は「製造業」「情報通信業」「医療、福祉」が上位。

就職確定者における就職予定先の業種は、大学生は「情報通信業」「医療、福祉」「卸売業、小売業」の順に割合が高い。大学院生は「製造業」「情報通信業」「医療、福祉」の順に割合が高い。

属性別にみると、文系の国公立大学生は大学生全体に比べて「公務」の割合が高い。理系の国公立大学生は大学生全体に比べて「情報通信業」の割合が高い。

2021年調査と比べると、大学生・大学院生ともに「情報通信業」が減少している。大学院生では「製造業」「医療、福祉」が増加している。(図表5)

図表5 就職確定者の就職予定先の業種(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース

	n=	農業、林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業
大学生	1,439	0.8 (-0.1)	0.2 (0.2)	0.5 (0.5)	7.1 (1.7)	9.9 (-2.6)	3.4 (2.0)	13.3 (-3.9)	4.1 (0.4)	10.8 (1.5)	5.4 (-0.1)	3.0 (-0.4)
文系	980	0.2 (-0.7)	0.3 (0.3)	0.3 (0.2)	4.4 (0.3)	6.7 (-3.2)	3.1 (2.1)	11.5 (-4.3)	5.2 (0.1)	13.2 (1.6)	7.6 (0.2)	3.7 (-0.3)
国公立	125	- (-0.3)	- (-)	1.6 (1.6)	3.1 (1.2)	12.7 (-3.0)	3.2 (3.2)	8.2 (-7.7)	5.4 (1.0)	8.7 (-2.8)	12.5 (5.4)	2.9 (0.1)
私立	855	0.3 (-0.7)	0.4 (0.4)	0.1 (0.1)	4.6 (0.2)	5.9 (-3.3)	3.1 (2.0)	12.0 (-3.8)	5.1 (-0.1)	13.8 (2.3)	6.9 (-0.5)	3.9 (-0.4)
理系	459	2.2 (1.0)	- (-)	0.9 (0.9)	13.0 (4.6)	16.8 (-1.9)	4.0 (1.8)	17.2 (-3.4)	1.9 (1.3)	5.8 (1.6)	0.6 (-0.4)	1.4 (-0.3)
国公立	137	3.0 (3.0)	- (-)	- (-)	5.2 (-11.3)	17.6 (2.4)	5.4 (5.4)	28.7 (11.2)	0.4 (-0.1)	6.9 (1.1)	1.3 (0.2)	- (-0.5)
私立	322	1.8 (0.3)	- (-)	1.3 (1.3)	16.3 (10.8)	16.5 (-3.5)	3.4 (0.4)	12.3 (-9.4)	2.5 (2.0)	5.2 (1.7)	0.3 (-0.7)	2.0 (-0.1)
北海道・東北	95	3.7 (3.7)	- (-)	0.9 (0.9)	6.0 (-2.0)	8.6 (-4.9)	3.2 (2.3)	7.4 (1.2)	2.7 (0.1)	12.6 (-6.8)	2.4 (-1.8)	- (-1.8)
関東	592	0.8 (-0.0)	- (-)	0.1 (0.1)	8.1 (3.4)	9.2 (-0.7)	4.0 (3.0)	17.1 (-3.8)	4.0 (-0.3)	7.8 (1.0)	5.1 (-1.3)	3.4 (0.3)
中部	292	- (-)	- (-)	1.6 (1.6)	7.9 (4.6)	15.1 (-5.1)	2.6 (-1.2)	10.9 (-5.5)	5.9 (3.9)	13.2 (3.7)	7.4 (3.9)	1.0 (-0.4)
近畿	275	- (-3.0)	1.2 (1.2)	- (-0.1)	6.8 (0.5)	9.9 (-2.2)	2.3 (1.5)	12.8 (-1.0)	5.2 (2.0)	13.7 (3.9)	5.3 (0.5)	5.1 (-2.7)
中国・四国	78	3.9 (3.9)	- (-)	- (-)	5.1 (-5.6)	10.0 (-1.0)	0.4 (-0.7)	9.2 (-11.3)	1.0 (0.3)	10.4 (-9.4)	2.8 (-5.1)	6.0 (6.0)
九州	108	0.8 (0.5)	- (-)	0.7 (0.7)	3.0 (-2.4)	1.2 (-11.0)	7.5 (7.5)	9.1 (-7.1)	0.7 (-9.4)	12.3 (9.4)	5.9 (0.4)	1.3 (-0.0)
大学院生	122	2.5 (2.5)	- (-)	- (-0.7)	3.3 (-4.4)	41.0 (8.8)	5.7 (-0.6)	13.9 (-4.2)	1.6 (0.2)	3.3 (1.2)	0.8 (-2.0)	- (-0.7)

* カッコ内は2021年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2021年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑤就職予定先の企業状況

※就職確定者ベース

※前ページより続き

	n=	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業（他に分類されないもの）	公務（他に分類されるものを除く）	NPO等団体	その他
大学生	1,439	2.6 (-0.6)	2.7 (-0.0)	2.7 (-0.0)	5.9 (0.8)	12.9 (1.8)	1.2 (-1.1)	6.5 (0.3)	3.7 (-0.6)	- (-0.8)	3.1 (1.2)
文系	980	2.4 (0.2)	2.9 (-0.6)	3.6 (-0.0)	8.2 (2.0)	8.8 (2.1)	1.4 (-1.3)	8.2 (0.7)	4.5 (-0.7)	- (-0.2)	3.6 (1.5)
国公立	125	2.4 (-0.3)	2.6 (0.7)	3.7 (0.9)	7.5 (-1.8)	5.3 (2.9)	1.8 (-0.6)	5.2 (0.3)	11.3 (-0.8)	- (-0.8)	1.9 (0.8)
私立	855	2.4 (0.3)	2.9 (-0.7)	3.6 (-0.2)	8.3 (2.5)	9.3 (2.1)	1.4 (-1.4)	8.6 (0.8)	3.5 (-0.8)	- (-0.1)	3.9 (1.6)
理系	459	3.2 (-2.6)	2.4 (1.3)	0.6 (0.2)	0.9 (-1.5)	21.6 (0.2)	0.7 (-0.5)	2.9 (-0.4)	2.1 (-0.2)	- (-2.3)	2.0 (0.6)
国公立	137	2.6 (-3.2)	0.4 (0.4)	- (-)	0.4 (-3.8)	14.5 (-7.2)	2.2 (2.2)	4.4 (1.2)	3.9 (-3.5)	- (-)	3.0 (2.5)
私立	322	3.4 (-2.3)	3.3 (1.8)	0.9 (0.3)	1.1 (-0.7)	24.6 (3.3)	- (-1.6)	2.3 (-1.0)	1.3 (0.8)	- (-3.1)	1.5 (-0.2)
北海道・東北	95	0.3 (-0.5)	0.3 (-5.4)	4.9 (2.5)	17.3 (8.3)	13.7 (1.2)	2.9 (1.7)	5.6 (2.6)	3.3 (2.4)	- (-3.9)	4.2 (0.2)
関東	592	4.3 (-0.4)	2.8 (0.2)	2.7 (-0.4)	5.6 (1.2)	10.5 (0.6)	1.2 (-1.7)	7.2 (0.5)	3.9 (-1.3)	- (-1.0)	2.3 (0.5)
中部	292	0.8 (-0.2)	2.0 (-1.5)	1.0 (-0.5)	3.2 (-2.8)	12.4 (-2.9)	0.8 (-0.1)	4.5 (1.8)	3.3 (-1.8)	- (-0.5)	6.3 (3.1)
近畿	275	1.0 (-3.0)	3.0 (0.6)	4.0 (2.4)	4.9 (-0.4)	15.0 (5.6)	1.3 (-2.7)	6.1 (-2.1)	1.4 (-0.6)	- (-)	1.1 (-0.3)
中国・四国	78	1.7 (-0.4)	1.5 (1.5)	1.0 (1.0)	11.2 (8.6)	22.1 (13.2)	- (-0.4)	3.1 (-3.8)	10.6 (3.4)	- (-0.4)	- (-)
九州	108	5.4 (3.8)	6.9 (4.9)	2.9 (-5.9)	3.5 (-1.1)	14.6 (0.5)	1.5 (1.2)	12.5 (3.2)	5.0 (0.4)	- (-)	5.2 (4.5)
大学院生	122	7.4 (-0.3)	- (-)	- (-0.7)	3.3 (-3.0)	10.7 (5.8)	0.8 (-0.6)	3.3 (2.6)	0.8 (-1.3)	- (-0.7)	1.6 (-1.9)

*カッコ内は2021年とのスコア差を掲載。 *属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

*2021年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑤就職予定先の企業状況

就職予定先の従業員規模は、大学生は「5000人以上」、大学院生は「1000人～4999人」「5000人以上」の割合が増加。北海道・東北、中国・四国の大学生の「5000人以上」の割合が大幅に増加。

就職確定者における就職予定先の従業員規模は、大学生は「1000人～4999人」の割合が最も高い。大学院生は「1000人～4999人」「5000人以上」の割合が高い。

2021年調査と比べると、大学生は「5000人以上」が増加している。特に北海道・東北や中国・四国の大学生は大幅に増加している。(図表6)

図表6 就職確定者の就職予定先の従業員規模(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース

n=		100人未満	100人～299人	300人～999人	1000人～4999人	5000人以上
大学生	1,439	16.8 (-0.4)	19.2 (1.1)	22.9 (-3.4)	25.3 (-1.2)	15.7 (3.9)
文系	980	17.6 (-1.1)	19.5 (2.3)	22.8 (-3.2)	24.6 (-0.6)	15.5 (2.6)
国公立	125	11.6 (-3.7)	15.9 (-1.8)	19.5 (-3.0)	35.2 (8.6)	17.8 (-0.1)
私立	855	18.5 (-0.6)	20.1 (2.8)	23.2 (-3.2)	23.0 (-2.0)	15.2 (2.9)
理系	459	15.1 (1.4)	18.6 (-1.5)	23.2 (-3.9)	26.9 (-2.7)	16.2 (6.8)
国公立	137	12.7 (3.7)	22.7 (3.1)	26.1 (-7.1)	18.1 (-9.5)	20.4 (9.8)
私立	322	16.1 (0.7)	16.8 (-3.5)	22.0 (-2.9)	30.7 (0.3)	14.3 (5.4)
北海道・東北	95	15.0 (-11.3)	26.0 (12.1)	19.4 (-15.3)	22.8 (2.2)	16.7 (12.3)
関東	592	15.7 (2.5)	19.3 (0.1)	23.5 (-0.9)	26.5 (-1.9)	15.0 (0.2)
中部	292	15.5 (-6.4)	21.4 (3.7)	25.3 (-1.5)	21.4 (-3.7)	16.5 (7.9)
近畿	275	17.6 (-1.6)	13.5 (-1.2)	23.9 (-0.3)	28.5 (1.2)	16.5 (1.9)
中国・四国	78	29.0 (10.5)	16.5 (0.7)	18.6 (-13.1)	17.6 (-12.7)	18.3 (14.6)
九州	108	17.3 (4.2)	23.6 (-6.4)	17.0 (-12.3)	28.9 (9.9)	13.1 (4.5)
大学院生	122	10.7 (0.2)	8.2 (-3.7)	18.9 (-2.1)	31.1 (4.6)	31.1 (1.1)

* カッコ内は2021年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2021年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑤就職予定先の企業状況

採用・コースは大学生・大学院生ともに「総合職」の割合が最も高い。理系大学生で「総合職」が大幅に増加している。

就職確定者において、就職予定先で応募した採用・コースは、大学生・大学院生ともに「総合職」の割合が最も高い。いずれの属性でみても、「総合職」の割合が最も高い。

2021年調査と比べると、理系大学生で「総合職」が増加しており、他の採用・コースは減少している。(図表7)

図表7 就職確定者の就職予定先で応募した採用・コース(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース		総合職	一般職	地域限定職	職務限定職	その他の採用 または職種・ コース	採用または 職種・コース等 の定めがない
n=							
大学生	1,439	51.3 (0.3)	22.7 (-1.4)	3.5 (-0.3)	7.4 (1.1)	4.8 (-1.1)	10.2 (1.4)
文系	980	53.9 (-4.8)	21.9 (-0.4)	4.8 (0.8)	4.9 (1.4)	3.3 (-0.9)	11.2 (3.9)
国公立	125	64.2 (0.5)	15.8 (-0.6)	3.5 (0.8)	4.7 (1.4)	2.9 (-1.2)	8.9 (-1.0)
私立	855	52.4 (-5.7)	22.8 (-0.3)	5.0 (0.8)	4.9 (1.4)	3.3 (-0.8)	11.6 (4.6)
理系	459	45.9 (12.5)	24.3 (-3.8)	0.8 (-2.5)	12.7 (-0.1)	8.1 (-1.7)	8.2 (-4.4)
国公立	137	52.2 (16.8)	22.4 (7.0)	0.8 (-3.9)	7.6 (-6.7)	6.9 (-6.3)	10.1 (-6.9)
私立	322	43.3 (10.5)	25.2 (-7.5)	0.8 (-2.0)	14.8 (2.6)	8.6 (-0.0)	7.4 (-3.6)
北海道 ・東北	95	42.5 (-1.5)	28.0 (9.5)	3.8 (-2.3)	8.0 (0.9)	7.1 (-2.6)	10.7 (-4.0)
関東	592	56.4 (4.8)	19.4 (-4.9)	3.5 (1.0)	5.3 (-1.1)	4.3 (-1.0)	11.1 (1.1)
中部	292	44.1 (-5.2)	25.9 (1.3)	4.8 (1.8)	7.7 (2.1)	6.3 (-1.3)	11.2 (1.2)
近畿	275	54.1 (0.0)	22.3 (0.2)	3.4 (-3.9)	11.7 (5.1)	2.1 (-3.5)	6.4 (2.2)
中国・ 四国	78	36.5 (-21.2)	33.0 (8.2)	1.2 (-1.8)	5.7 (0.6)	5.5 (4.3)	18.1 (9.8)
九州	108	54.7 (9.3)	21.0 (-11.6)	2.0 (-0.2)	7.6 (1.4)	8.0 (2.0)	6.7 (-0.8)
大学院生	122	66.4 (-1.4)	12.3 (6.0)	0.8 (0.1)	11.5 (3.8)	6.6 (-3.2)	2.5 (-5.2)

* カッコ内は2021年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤字**にした。

* 2021年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い青色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑤就職予定先の企業状況

大学生・大学院生ともに「当初から第1志望(群)だった」の割合が最も高く、大学生ではやや増加している。

就職確定者における就職予定先の当初の志望状況は、大学生・大学院生ともに「当初から第1志望(群)だった」の割合が最も高い。大学院生は大学生に比べ「当初から第1志望(群)だった」の割合が高い。

2021年調査と比べると、大学生では「当初から第一志望(群)だった」がやや増加している。(図表8)

図表8 就職確定者の就職活動を開始した当初の就職予定先の志望状況(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベース

n=		当初から第1志望(群)だった	第1志望(群)ではないが、当初から志望していた	当初はまったく志望していなかった
大学生	1,439	45.7 (2.1)	26.6 (-1.3)	27.7 (-0.8)
文系	980	40.7 (0.1)	27.8 (0.4)	31.5 (-0.5)
国公立	125	51.6 (4.1)	26.7 (-2.1)	21.7 (-2.1)
私立	855	39.1 (-0.5)	28.0 (0.7)	32.9 (-0.2)
理系	459	56.2 (5.9)	24.1 (-5.1)	19.7 (-0.7)
国公立	137	60.9 (5.3)	15.9 (-13.8)	23.2 (8.5)
私立	322	54.2 (5.8)	27.6 (-1.5)	18.2 (-4.3)
北海道・東北	95	58.2 (-1.6)	23.5 (5.0)	18.4 (-3.4)
関東	592	42.8 (2.0)	25.0 (-2.6)	32.2 (0.5)
中部	292	46.0 (3.2)	34.9 (6.1)	19.1 (-9.3)
近畿	275	43.5 (1.5)	26.8 (-2.0)	29.7 (0.5)
中国・四国	78	65.1 (24.7)	14.1 (-23.0)	20.9 (-1.7)
九州	108	41.2 (-10.9)	24.4 (-3.8)	34.4 (14.7)
大学院生	122	57.4 (-4.2)	25.4 (9.3)	17.2 (-5.2)

* カッコ内は2021年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2021年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

就職活動に関する情報収集の開始時期の割合は、「大学3年/大学院1年の6～9月頃」が最も高い。終了時期は、大学生は「大学4年の10～3月頃」、大学院生は「大学院1年の3月以前」の割合が最も高い。

就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始時期は、大学生・大学院生ともに「大学3年/大学院1年の6～9月頃」の割合が最も高い。2021年調査と比べると、理系の国公立大学生で「大学3年/大学院1年の6～9月頃」の割合が増加している。

プレエントリー、企業説明会の開始時期は、大学生は「大学3年1～2月頃」、大学院生は「大学院1年の6～9月頃」の割合が高い。2021年調査と比べると、理系の国公立大学生や大学院生で「大学3年/大学院1年の6～9月頃」の割合が増加している。（図表9）

図表9 就職活動の開始時期（単一回答、単位=%）

※各実施者ベース

		n=	大学3年/大学院1年					大学4年/大学院2年			
			5月以前	6～9月頃	10～11月頃	12月頃	1～2月頃	3月頃	4～5月頃	6～7月頃	8月以降
就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集	大学生	1,562	12.4 (-2.3)	27.4 (-3.3)	14.0 (-0.9)	8.6 (2.4)	15.7 (2.3)	9.9 (1.0)	7.1 (0.7)	2.4 (0.4)	2.5 (-0.2)
	文系	1,035	13.8 (-2.8)	27.8 (-4.3)	14.0 (-1.5)	8.0 (3.4)	13.2 (1.3)	10.2 (0.6)	8.2 (2.1)	2.5 (1.2)	2.4 (-0.0)
	国公立	125	16.2 (3.0)	32.2 (-9.8)	12.5 (0.4)	7.1 (1.0)	10.0 (-2.5)	14.4 (7.2)	5.2 (2.4)	1.8 (-0.2)	0.5 (-1.5)
	私立	910	13.5 (-3.5)	27.2 (-3.7)	14.2 (-1.7)	8.1 (3.7)	13.7 (1.8)	9.6 (-0.3)	8.6 (2.1)	2.6 (1.4)	2.6 (0.2)
	理系	527	9.5 (-1.3)	26.6 (-1.3)	13.9 (0.3)	9.9 (0.3)	20.6 (4.1)	9.4 (1.8)	5.0 (-2.2)	2.2 (-1.3)	2.9 (-0.5)
	国公立	167	13.9 (-1.6)	27.5 (8.8)	12.5 (-3.1)	7.5 (0.8)	23.0 (7.6)	9.7 (0.4)	3.2 (-4.4)	1.0 (-6.5)	1.7 (-1.8)
	私立	359	7.4 (-1.8)	26.1 (-4.7)	14.5 (1.6)	11.1 (0.5)	19.6 (2.7)	9.3 (2.3)	5.9 (-1.2)	2.7 (0.5)	3.4 (0.1)
	大学院生	136	25.7 (10.7)	33.1 (0.9)	7.4 (-3.6)	3.7 (-3.9)	7.4 (-5.7)	8.8 (-1.5)	9.6 (6.1)	0.7 (-1.3)	3.7 (-1.8)
プレエントリー	大学生	1,534	5.1 (1.7)	12.1 (-2.4)	10.0 (-0.2)	7.5 (2.5)	23.2 (0.1)	20.9 (-4.7)	12.6 (1.3)	3.9 (-0.8)	4.8 (2.4)
	文系	1,020	5.4 (1.1)	12.0 (-3.3)	8.3 (-1.6)	7.0 (2.7)	23.8 (1.5)	22.0 (-3.4)	12.9 (0.8)	4.2 (0.1)	4.5 (2.1)
	国公立	127	7.2 (3.6)	13.7 (2.9)	12.5 (4.3)	6.4 (-2.3)	19.0 (-2.0)	21.8 (-8.8)	8.8 (-1.8)	7.1 (4.3)	3.3 (-0.3)
	私立	892	5.1 (0.8)	11.7 (-4.1)	7.7 (-2.4)	7.0 (3.3)	24.4 (2.0)	22.0 (-2.7)	13.5 (1.1)	3.8 (-0.5)	4.7 (2.4)
	理系	514	4.5 (2.9)	12.3 (-0.4)	13.2 (2.5)	8.7 (2.1)	22.0 (-2.6)	18.6 (-7.5)	12.0 (2.6)	3.3 (-2.5)	5.4 (2.9)
	国公立	172	4.2 (3.7)	14.3 (4.2)	12.9 (-0.9)	6.8 (1.7)	19.1 (-8.9)	24.8 (4.3)	6.5 (-5.0)	3.5 (-4.4)	7.9 (5.1)
	私立	342	4.7 (2.7)	11.3 (-2.3)	13.3 (3.6)	9.7 (2.6)	23.4 (-0.0)	15.5 (-12.5)	14.7 (6.1)	3.2 (-1.8)	4.2 (1.7)
	大学院生	133	2.3 (-0.5)	19.5 (7.8)	12.0 (3.1)	9.0 (0.7)	18.0 (-7.5)	14.3 (-7.8)	12.8 (4.5)	2.3 (-2.6)	9.8 (2.2)

*カッコ内は2021年とのスコア差を掲載。 *属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2021年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

※各実施者ベース

※前ページより続き

	n=	大学3年／大学院1年						大学4年／大学院2年			
		5月以前	6～9月頃	10～11月頃	12月頃	1～2月頃	3月頃	4～5月頃	6～7月頃	8月以降	
		企業説明会	大学生	1,582	5.4 (1.0)	14.0 (-2.5)	10.9 (0.6)	8.3 (3.2)	19.0 (-2.6)	19.0 (-2.3)	14.1 (2.2)
	文系	1,054	5.9 (1.3)	13.7 (-4.1)	10.4 (0.2)	7.6 (3.0)	18.2 (-2.0)	19.5 (-1.6)	15.1 (2.1)	4.8 (1.4)	4.7 (-0.3)
	国公立	128	8.0 (3.6)	19.3 (1.8)	8.4 (-0.4)	8.1 (3.4)	15.4 (-4.8)	16.8 (-8.3)	16.6 (5.4)	3.1 (-0.9)	4.3 (0.3)
	私立	926	5.6 (1.0)	13.0 (-4.9)	10.7 (0.3)	7.6 (2.9)	18.6 (-1.6)	19.9 (-0.8)	14.9 (1.6)	5.0 (1.7)	4.7 (-0.3)
	理系	528	4.5 (0.3)	14.5 (0.8)	11.9 (1.3)	9.6 (3.6)	20.6 (-4.1)	17.9 (-3.7)	12.0 (2.6)	2.7 (-1.8)	6.3 (1.0)
	国公立	170	6.0 (3.3)	14.8 (8.1)	11.7 (-8.4)	10.3 (3.5)	21.6 (1.2)	19.1 (4.3)	4.4 (-9.0)	3.5 (-4.6)	8.6 (1.5)
	私立	359	3.7 (-0.9)	14.3 (-1.7)	12.1 (4.6)	9.3 (3.5)	20.2 (-6.1)	17.4 (-6.6)	15.6 (7.5)	2.3 (-1.0)	5.1 (0.5)
	大学院生	132	3.0 (-1.1)	25.0 (6.6)	11.4 (4.6)	8.3 (-1.2)	15.2 (-1.2)	12.9 (-10.3)	13.6 (2.8)	4.5 (1.1)	6.1 (-1.4)

*カッコ内は2021年とのスコア差を掲載。 *属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2021年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

就職活動の終了時期は、大学生は「大学4年の10～3月頃」、大学院生は「大学院1年の3月以前」の割合が最も高い。

2021年調査と比べると、大学生では大学4年の8月以降が減少し、7月以前が増加しており、全体的に終了時期が早くなっている様子がうかがえる。(図表10)

図表10 就職活動の終了時期(単一回答、単位=%)

	n=	大学3年/ 大学院1年 の3月以前	大学4年/大学院2年							活動継続中
			4月頃	5月頃	6月頃	7月頃	8月頃	9月頃	10～3月頃	
大学生	1,644	11.0 (0.4)	7.1 (3.2)	9.6 (1.2)	16.9 (4.0)	13.4 (2.0)	9.6 (-2.2)	8.3 (-0.3)	18.1 (-3.3)	6.0 (-5.0)
文系	1,097	10.3 (1.2)	5.6 (2.7)	10.0 (3.4)	16.2 (1.6)	13.7 (2.3)	9.6 (-4.2)	7.1 (-2.2)	21.5 (-0.2)	6.0 (-4.7)
国公立	135	12.7 (5.6)	3.4 (-0.0)	8.0 (2.7)	25.3 (3.1)	14.6 (2.6)	6.3 (-3.7)	10.9 (4.3)	14.1 (-12.5)	4.8 (-2.0)
私立	962	10.0 (0.6)	5.9 (3.1)	10.3 (3.6)	14.9 (1.3)	13.5 (2.2)	10.1 (-4.2)	6.6 (-3.1)	22.5 (1.5)	6.2 (-5.0)
理系	547	12.4 (-1.1)	10.1 (4.1)	8.8 (-3.3)	18.4 (8.7)	12.9 (1.5)	9.6 (1.8)	10.6 (3.6)	11.2 (-9.6)	5.9 (-5.7)
国公立	176	16.9 (5.5)	9.4 (3.7)	7.6 (-1.2)	20.0 (7.6)	11.5 (1.6)	10.5 (-1.4)	11.6 (-1.4)	8.4 (-6.9)	4.1 (-7.4)
私立	371	10.2 (-4.0)	10.4 (4.3)	9.5 (-3.9)	17.6 (8.9)	13.6 (1.6)	9.2 (2.9)	10.1 (5.4)	12.6 (-10.3)	6.8 (-4.9)
大学院生	140	19.3 (4.3)	9.3 (1.8)	14.3 (3.0)	16.4 (-3.6)	12.1 (2.1)	6.4 (0.2)	2.9 (-2.1)	13.6 (-2.1)	5.7 (-3.7)

* カッコ内は2021年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2021年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

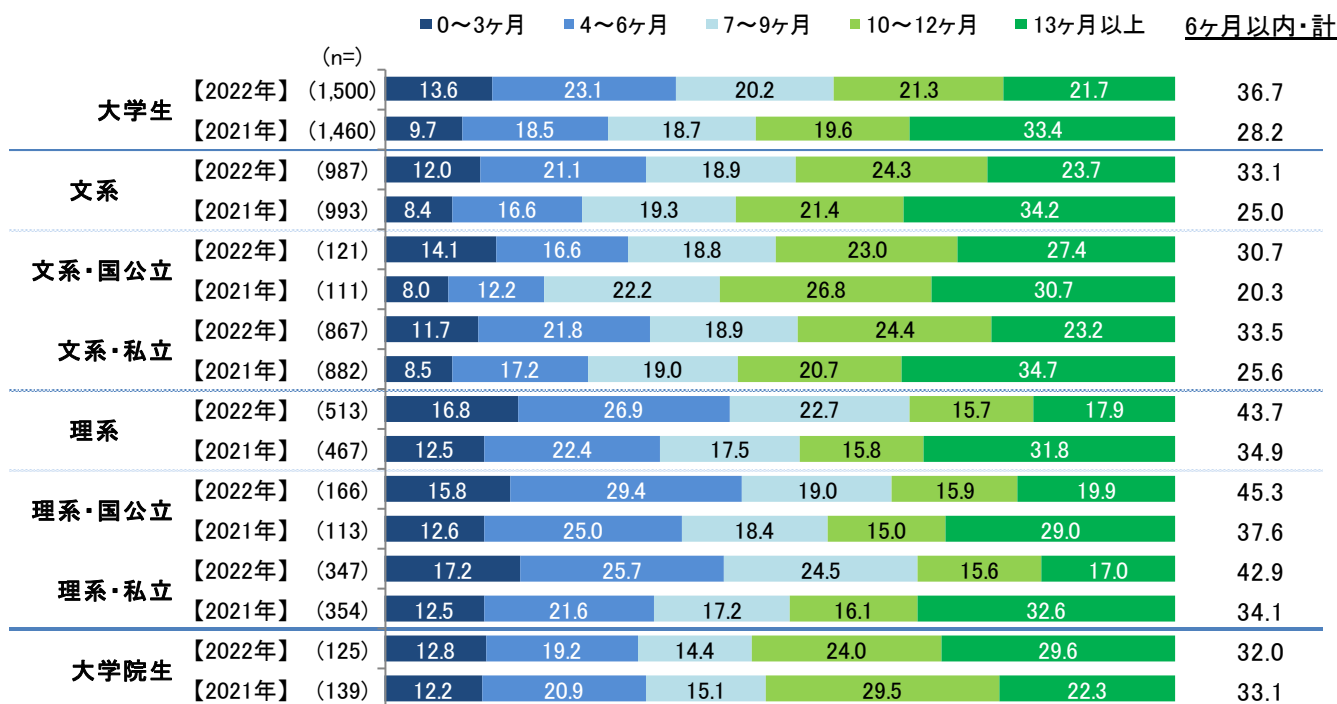
⑥就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始時期から就職活動の終了時期までの実施期間は、大学生・大学院生ともに3割以上が6ヶ月以内となっている。2021年調査と比べると、大学生は6ヶ月以内の割合が増加している。(図表11)

プレエントリー、企業説明会、面接などの選考の開始時期から就職活動の終了時期までの実施期間は、2021年調査と比べると、大学生は「0～3ヶ月」が増加しており、全体的に期間が短くなっている様子がうかがえる。(図表12)

図表11 就職活動の実施期間(単一回答、単位=%)

* 就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始月から就職活動の終了月。
3月下旬時点の活動継続者は端数を切り上げ4月1日まで活動したとみなして算出。



※6ヶ月以内・計:「0～3ヶ月」+「4～6ヶ月」

図表12 就職活動の実施期間(単一回答、単位=%)

* 各就職活動の開始月から就職活動の終了月。
3月下旬時点の活動継続者は端数を切り上げ4月1日まで活動したとみなして算出。

		n=	0～3ヶ月	4～6ヶ月	7～9ヶ月	10～12ヶ月	13ヶ月以上
プレ エントリー	大学生	1,449	27.0 (6.9)	30.7 (-1.9)	20.7 (2.0)	10.9 (-1.8)	10.7 (-5.3)
	大学院生	116	28.4 (-4.1)	36.2 (2.9)	13.8 (-0.3)	11.2 (0.8)	10.3 (0.7)
企業 説明 会	大学生	1,487	26.1 (6.6)	28.8 (0.1)	20.6 (0.4)	12.3 (-1.0)	12.2 (-6.1)
	大学院生	118	26.3 (-6.1)	34.7 (5.3)	16.9 (3.7)	11.0 (-3.0)	11.0 (-0.0)
		n=	0～2ヶ月	3～4ヶ月	5～6ヶ月	7～9ヶ月	10ヶ月以上
面接 など の 選考	大学生	1,501	26.0 (0.1)	23.9 (2.5)	14.7 (-3.2)	18.3 (2.6)	17.1 (-2.0)
	大学院生	122	32.8 (-0.8)	22.1 (-4.6)	19.7 (3.9)	11.5 (3.3)	13.9 (-1.8)

* カッコ内は2021年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。
* 2021年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色、10ポイント以上低いセルを濃い青色で網掛けした。

⑦就職活動の各プロセスの活動量

大学生の就職活動の各プロセスにおける活動量は、プレエントリー20.4社、企業説明会参加18.6社、書類選考12.7社、面接などの選考11.7社。プレエントリー社数が減少。

各プロセスの対象企業・団体数の平均値は、大学生ではプレエントリー20.4社、企業説明会18.6社、書類選考12.7社、面接などの選考11.7社、最終面接4.2社、内定取得2.2社。属性別にみると、理系大学生よりも文系大学生でプレエントリー、企業説明会、書類選考などの社数が多いが、最終面接や内定の社数はほぼ同じ。

2021年調査と比較すると、大学生・大学院生ともにプレエントリーした社数は減少している。

プレエントリーした企業のうち、就職活動開始前から知っていた企業は、大学生・大学院生ともに10社強となっており、大学生・大学院生で違いはみられない。(図表13)

図表13 就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の平均値(各数値回答、単位=社) ※0社回答を除く

※各実施者ベース

	プレエントリーした	プレエントリーしたうち、就職活動開始前から知っていた	企業説明会に参加した	書類選考を受けた	面接などの選考を受けた			最終面接を受けた	内定(内々定)を取得した
					対面+Web・計	対面	Web		
大学生	20.4 (-2.4)	11.2 (-1.0)	18.6 (1.9)	12.7 (0.6)	11.7 (1.2)	5.0 (-0.4)	8.2 (1.7)	4.2 (0.3)	2.2 (0.2)
文系	<u>23.0</u> (-3.7)	<u>12.2</u> (-1.9)	<u>20.3</u> (1.8)	<u>13.9</u> (-0.2)	<u>12.1</u> (0.4)	<u>5.0</u> (-0.8)	<u>8.5</u> (1.4)	<u>4.4</u> (0.2)	<u>2.3</u> (0.2)
国公立	21.9 (1.3)	10.9 (-2.4)	19.4 (5.2)	13.8 (0.3)	11.9 (0.6)	4.7 (-0.8)	<u>8.5</u> (1.1)	4.3 (0.5)	<u>2.6</u> (0.4)
私立	<u>23.2</u> (-4.3)	<u>12.4</u> (-1.9)	<u>20.5</u> (1.4)	<u>13.9</u> (-0.3)	<u>12.1</u> (0.3)	5.0 (-0.8)	8.5 (1.5)	<u>4.4</u> (0.2)	2.2 (0.2)
理系	15.3 (0.6)	8.9 (1.1)	15.1 (2.5)	10.3 (2.2)	10.8 (3.0)	4.9 (0.6)	7.6 (2.4)	3.9 (0.4)	2.1 (0.1)
国公立	13.0 (-3.3)	7.3 (-0.7)	14.7 (3.5)	8.7 (1.3)	8.8 (1.3)	4.1 (0.2)	6.3 (1.1)	3.7 (0.3)	2.3 (0.3)
私立	16.4 (2.3)	9.7 (2.0)	15.3 (2.2)	11.0 (2.6)	11.8 (3.8)	<u>5.3</u> (0.8)	8.2 (3.0)	4.0 (0.5)	2.0 (-0.0)
北海道・東北	11.3 (-3.6)	7.4 (-1.4)	10.7 (-2.1)	6.9 (-1.4)	7.8 (1.0)	3.1 (-0.7)	6.3 (1.7)	3.6 (0.5)	2.1 (0.0)
関東	<u>24.9</u> (-2.2)	12.3 (-1.6)	<u>21.1</u> (2.5)	<u>15.7</u> (1.5)	13.6 (1.5)	5.5 (-0.3)	9.3 (1.6)	4.4 (0.0)	2.2 (-0.0)
中部	18.3 (-3.4)	9.6 (-0.9)	16.8 (1.4)	9.8 (-0.8)	9.1 (-0.1)	4.3 (-0.8)	5.9 (0.6)	3.7 (0.0)	2.1 (0.3)
近畿	22.1 (0.8)	<u>12.6</u> (0.3)	19.1 (1.8)	14.1 (2.1)	<u>14.1</u> (3.3)	<u>6.2</u> (0.5)	<u>9.8</u> (3.2)	4.6 (0.5)	2.4 (0.4)
中国・四国	13.1 (-4.7)	8.0 (-1.9)	14.3 (2.3)	8.1 (-1.3)	6.4 (-2.6)	3.1 (-1.9)	5.4 (0.6)	3.3 (-0.3)	1.9 (-0.3)
九州	11.0 (-5.7)	10.5 (1.3)	18.2 (4.4)	8.8 (-0.9)	8.4 (1.4)	3.4 (-0.3)	6.5 (1.4)	<u>5.2</u> (1.7)	<u>2.6</u> (0.9)
大学院生	15.2 (-6.3)	10.1 (-2.1)	13.9 (0.4)	10.7 (-1.0)	8.6 (-0.9)	3.1 (-1.0)	7.2 (0.3)	3.4 (0.5)	2.1 (0.2)

* カッコ内は2021年とのスコア差を掲載。

* 各プロセスの文理別/文理×国公立別/地域別で、対象企業・団体数の平均値が最も高いスコアに下線を引いた。

* 2021年とのスコア差が5ポイント以上高いセルを薄い橙色■、5ポイント以上低いセルを薄い青色■で網掛けした。

* 「企業説明会」「面接などの選考」「最終面接」については、対面とWebそれぞれで聴取。

⑦就職活動の各プロセスの活動量

	プレエント リーした	プレエント リーしたうち、 就職活動開 始前から 知っていた	企業説明会 に参加した	書類選考を 受けた	面接などの選考を受けた			最終面接を 受けた	内定(内々 定)を取得し た
					対面+Web・計	対面	Web		
大学生	1,532	1,315	1,535	1,575	1,523	1,351	1,352	1,504	1,481
文系	1,018	893	1,020	1,056	1,022	910	919	1,010	1,001
国公立	127	116	124	128	131	114	121	128	126
私立	891	777	896	928	891	796	799	882	875
理系	514	422	515	518	501	441	432	494	481
国公立	172	136	162	167	160	138	135	160	144
私立	342	286	353	351	341	302	298	334	337
北海道・ 東北	106	86	113	109	105	86	87	105	99
関東	625	542	639	642	630	560	587	620	613
中部	292	246	290	307	291	262	260	294	280
近畿	310	271	296	315	298	263	265	295	301
中国・四国	73	63	73	79	75	61	55	72	70
九州	126	107	124	123	123	118	98	118	118
大学院生	133	122	132	137	137	98	121	134	130

⑦就職活動の各プロセスの活動量

大学生の就職活動の各プロセスの対象企業・団体数の分布を属性別にみると、プレエントリー社数および企業説明会への参加社数は、文系大学生はいずれも「20～49社」の割合が最も高い。理系大学生はいずれも「1～4社」の割合が最も高い。書類選考を受けた社数は、文系大学生、理系大学生ともに「1～4社」の割合が最も高い。

2021年調査と比べると、理系の国公立大学生においてプレエントリー社数や企業説明会参加社数「0社」の学生が大幅に減少している。(図表14)

図表14 就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の分布(数値回答、単位=%)

	n=	20社未満				20～49社	50～99社	100社以上	
		0社	1～4社	5～9社	10～19社				
(資料・採用情報の請求) プレエントリーした	大学生	1,644	6.8 (-1.1)	27.0 (3.8)	16.6 (3.7)	16.3 (-0.7)	21.2 (-4.2)	8.1 (-2.2)	4.0 (0.6)
	文系	1,097	7.2 (0.7)	21.7 (1.7)	15.0 (3.3)	17.7 (1.5)	24.4 (-3.5)	9.6 (-3.6)	4.4 (-0.1)
	国公立	135	5.8 (0.7)	15.9 (-7.7)	19.6 (11.1)	18.0 (0.2)	23.4 (-9.8)	14.4 (3.4)	2.9 (2.2)
	私立	962	7.4 (0.8)	22.5 (2.9)	14.3 (2.2)	17.7 (1.6)	24.5 (-2.7)	8.9 (-4.5)	4.6 (-0.3)
	理系	547	6.0 (-4.9)	37.7 (8.2)	19.9 (4.7)	13.4 (-4.9)	14.8 (-5.4)	5.1 (0.4)	3.1 (1.9)
	国公立	176	2.6 (-14.2)	38.3 (9.7)	26.0 (16.8)	12.8 (-8.9)	14.2 (-4.4)	3.7 (1.4)	2.3 (-0.4)
	私立	371	7.6 (-1.1)	37.4 (7.6)	17.0 (-0.4)	13.7 (-3.4)	15.1 (-5.7)	5.8 (0.2)	3.4 (2.8)
	大学院生	140	5.0 (-4.4)	27.1 (7.8)	17.1 (2.1)	22.1 (4.0)	22.9 (-3.4)	5.0 (-5.0)	0.7 (-1.2)
企業説明会に参加した	大学生	1,644	6.6 (-1.3)	19.8 (-2.2)	19.1 (1.9)	21.9 (-2.4)	24.1 (2.3)	6.7 (0.9)	1.8 (0.8)
	文系	1,097	7.1 (1.2)	16.1 (-3.5)	18.1 (2.3)	22.9 (-2.7)	25.5 (1.0)	8.3 (0.8)	2.0 (0.9)
	国公立	135	8.0 (3.1)	16.4 (-10.8)	14.9 (1.8)	26.2 (-6.3)	26.3 (8.0)	6.8 (3.0)	1.4 (1.2)
	私立	962	6.9 (1.0)	16.1 (-2.6)	18.6 (2.4)	22.4 (-2.3)	25.4 (0.1)	8.5 (0.6)	2.1 (0.8)
	理系	547	5.7 (-6.4)	27.1 (0.5)	20.9 (1.0)	20.1 (-2.0)	21.2 (5.1)	3.5 (1.1)	1.4 (0.7)
	国公立	176	7.8 (-12.1)	24.8 (-0.1)	19.3 (1.0)	20.7 (-0.9)	25.1 (12.5)	0.3 (-2.3)	2.0 (2.0)
	私立	371	4.8 (-4.6)	28.2 (0.9)	21.6 (1.2)	19.8 (-2.4)	19.4 (1.9)	5.0 (2.8)	1.2 (0.2)
	大学院生	140	5.7 (-3.0)	18.6 (-4.6)	27.9 (4.1)	20.7 (2.0)	24.3 (3.0)	2.1 (-2.2)	0.7 (0.7)

* カッコ内は2021年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2021年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑦就職活動の各プロセスの活動量

※前ページより続き

		n=	20社未満				20~49社	50~99社	100社以上
			0社	1~4社	5~9社	10~19社			
書類選考を受けた	大学生	1,644	4.2 (0.4)	34.7 (-0.5)	19.1 (0.5)	17.1 (-2.7)	20.8 (2.4)	3.9 (-0.2)	0.2 (0.0)
	文系	1,097	3.7 (-0.0)	30.5 (0.3)	18.2 (1.2)	19.3 (-2.2)	23.9 (2.4)	3.9 (-1.8)	0.3 (0.0)
	国公立	135	4.8 (1.7)	21.6 (-8.4)	24.8 (7.2)	23.8 (4.6)	20.0 (-7.1)	4.8 (1.9)	0.2 (0.2)
	私立	962	3.6 (-0.3)	31.8 (1.6)	17.3 (0.3)	18.7 (-3.1)	24.5 (3.7)	3.8 (-2.3)	0.3 (0.0)
	理系	547	5.2 (1.4)	43.2 (-2.1)	20.7 (-0.9)	12.6 (-3.7)	14.3 (2.2)	4.0 (3.1)	- (-)
	国公立	176	5.0 (-1.9)	41.8 (-1.4)	23.1 (-2.1)	12.5 (-0.1)	16.9 (5.2)	0.7 (0.3)	- (-)
	私立	371	5.3 (2.6)	43.9 (-2.2)	19.6 (-0.8)	12.6 (-5.0)	13.1 (0.8)	5.5 (4.6)	- (-)
	大学院生	140	2.1 (-1.6)	35.0 (3.1)	25.0 (3.1)	20.0 (3.8)	15.7 (-8.7)	2.1 (0.3)	- (-)
(対面+Web)計 面接などの選考を受けた	大学生	1,644	7.4 (-1.6)	33.3 (-1.5)	19.3 (-1.2)	23.1 (3.4)	14.3 (0.3)	2.2 (0.1)	0.4 (0.4)
	文系	1,097	6.8 (-0.8)	29.1 (-2.8)	20.6 (0.9)	24.7 (3.5)	16.5 (-0.4)	2.0 (-0.7)	0.3 (0.3)
	国公立	135	2.7 (-1.7)	27.6 (-4.8)	21.3 (4.7)	33.0 (3.7)	13.0 (-1.8)	1.5 (-1.0)	1.0 (1.0)
	私立	962	7.4 (-0.7)	29.3 (-2.5)	20.5 (0.4)	23.6 (3.4)	16.9 (-0.2)	2.1 (-0.6)	0.2 (0.2)
	理系	547	8.4 (-3.2)	41.9 (1.2)	16.8 (-5.3)	19.8 (3.3)	10.0 (1.8)	2.6 (1.8)	0.6 (0.6)
	国公立	176	9.4 (4.5)	41.2 (-7.7)	20.4 (2.2)	18.8 (0.4)	10.1 (0.6)	- (-)	- (-)
	私立	371	7.9 (-6.1)	42.2 (4.5)	15.1 (-8.5)	20.2 (4.4)	9.9 (2.2)	3.8 (2.7)	0.8 (0.8)
	大学院生	140	2.1 (-2.2)	37.9 (2.9)	25.7 (0.7)	22.9 (-0.3)	10.0 (-1.3)	1.4 (0.2)	- (-)
面接などの選考を受けた (対面)	大学生	1,644	17.8	52.2	18.4	8.8	2.0	0.8	-
	文系	1,097	17.1	49.7	21.1	9.6	2.0	0.7	-
	国公立	135	15.8	51.3	22.3	8.7	1.0	1.0	-
	私立	962	17.2	49.4	20.9	9.7	2.1	0.6	-
	理系	547	19.4	57.4	12.9	7.1	2.0	1.1	-
	国公立	176	21.6	56.9	13.0	6.8	1.7	-	-
	私立	371	18.4	57.6	12.9	7.3	2.2	1.6	-
	大学院生	140	30.0	56.4	9.3	2.9	1.4	-	-
面接などの選考を受けた (Web)	大学生	1,644	17.8	37.7	19.7	15.2	8.6	1.1	-
	文系	1,097	16.2	36.4	20.2	16.9	8.8	1.4	-
	国公立	135	10.7	34.7	25.6	19.6	7.5	1.9	-
	私立	962	17.0	36.7	19.5	16.6	9.0	1.3	-
	理系	547	20.9	40.2	18.6	11.6	8.1	0.6	-
	国公立	176	23.6	41.4	17.8	12.2	5.1	-	-
	私立	371	19.6	39.7	19.0	11.4	9.5	0.8	-
	大学院生	140	13.6	39.3	20.7	18.6	7.9	-	-

* カッコ内は2021年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 2021年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

* 「企業説明会」「面接などの選考」「最終面接」については、対面とWebそれぞれで聴取。

⑦就職活動の各プロセスの活動量

※前ページより続き

	n=	20社未満				20~49社	50~99社	100社以上
		0社	1~4社	5~9社	10~19社			
最終面接を受けた	大学生	1,644	8.5 (-3.2)	62.7 (-1.2)	18.8 (2.4)	8.5 (1.6)	1.4 (0.3)	- (-)
	文系	1,097	8.0 (-1.4)	60.9 (-3.9)	20.8 (4.0)	8.6 (1.2)	1.8 (0.1)	- (-)
	国公立	135	5.3 (-4.7)	61.3 (-2.3)	22.3 (0.0)	9.6 (6.5)	1.4 (0.5)	- (-)
	私立	962	8.4 (-0.9)	60.8 (-4.1)	20.6 (4.5)	8.4 (0.5)	1.8 (0.1)	- (-)
	理系	547	9.7 (-6.7)	66.4 (4.4)	14.9 (-0.9)	8.3 (2.5)	0.7 (0.7)	- (-)
	国公立	176	9.4 (-4.7)	65.6 (-3.1)	21.2 (11.7)	3.8 (-3.9)	- (-)	- (-)
	私立	371	9.8 (-7.4)	66.7 (7.2)	11.9 (-6.2)	10.5 (5.3)	1.1 (1.1)	- (-)
大学院生	140	4.3 (-2.0)	72.9 (-7.1)	16.4 (6.4)	5.0 (1.3)	1.4 (1.4)	- (-)	

	n=	0社	1社	2社	3社	4社	5社以上
		大学生	1,644	9.9 (-4.4)	37.5 (-5.1)	25.2 (3.5)	13.4 (3.1)
文系	1,097	8.8 (-2.9)	36.6 (-6.1)	25.5 (2.5)	13.5 (2.1)	6.0 (0.7)	9.6 (3.8)
国公立	135	6.8 (-3.9)	28.1 (-5.5)	27.8 (-1.7)	17.9 (4.0)	6.0 (-0.3)	13.3 (7.4)
私立	962	9.1 (-2.7)	37.8 (-6.0)	25.2 (2.9)	12.9 (1.8)	5.9 (0.8)	9.1 (3.3)
理系	547	12.1 (-7.4)	39.3 (-3.1)	24.7 (5.6)	13.2 (5.2)	4.2 (0.6)	6.6 (-1.0)
国公立	176	18.3 (-5.4)	31.6 (-8.5)	22.1 (-1.1)	17.5 (14.5)	3.7 (2.2)	6.8 (-1.6)
私立	371	9.1 (-8.8)	42.9 (-0.3)	26.0 (8.3)	11.1 (1.4)	4.4 (0.1)	6.5 (-0.7)
大学院生	140	7.1 (-1.6)	48.6 (1.7)	17.1 (-4.1)	13.6 (-2.1)	5.7 (2.0)	7.9 (4.1)

*カッコ内は2021年とのスコア差を掲載。 *属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

*2021年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

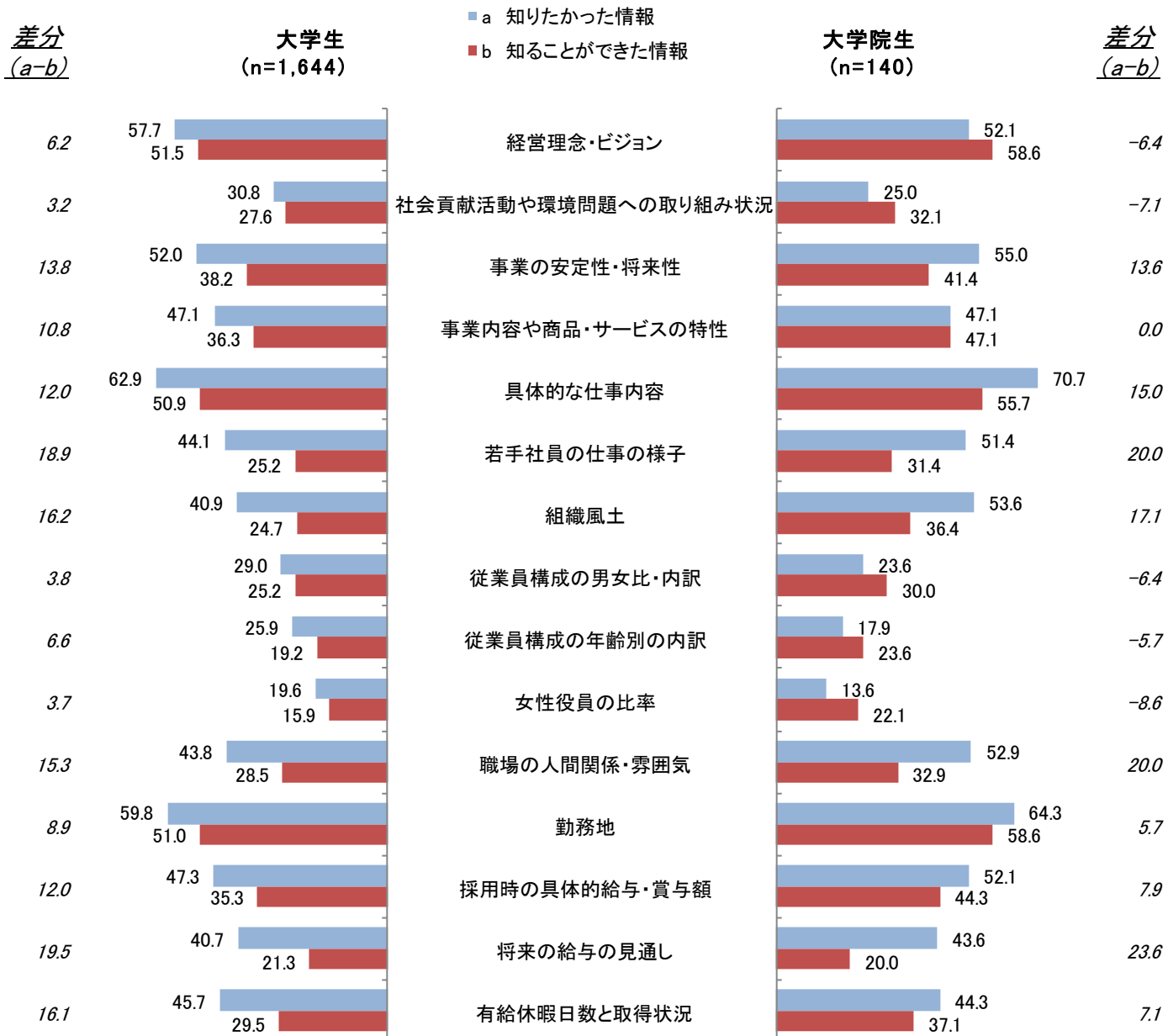
⑧ 知りたかった情報、知ることができた情報

大学生が就職活動中に知りたかった情報は「具体的な仕事内容」「勤務地」「経営理念・ビジョン」「事業の安定性・将来性」の順に高く、知ることができた情報との差が大きいのは「将来の給与の見通し」「若手社員の仕事の様子」「組織風土」「有給休暇日数と取得状況」。

大学生が就職活動中に知りたかった情報は、「具体的な仕事内容」「勤務地」「経営理念・ビジョン」「事業の安定性・将来性」の順に高い。知りたかった情報と知ることができた情報の差は、「将来の給与の見通し」「若手社員の仕事の様子」「組織風土」「有給休暇日数と取得状況」の順に大きい。

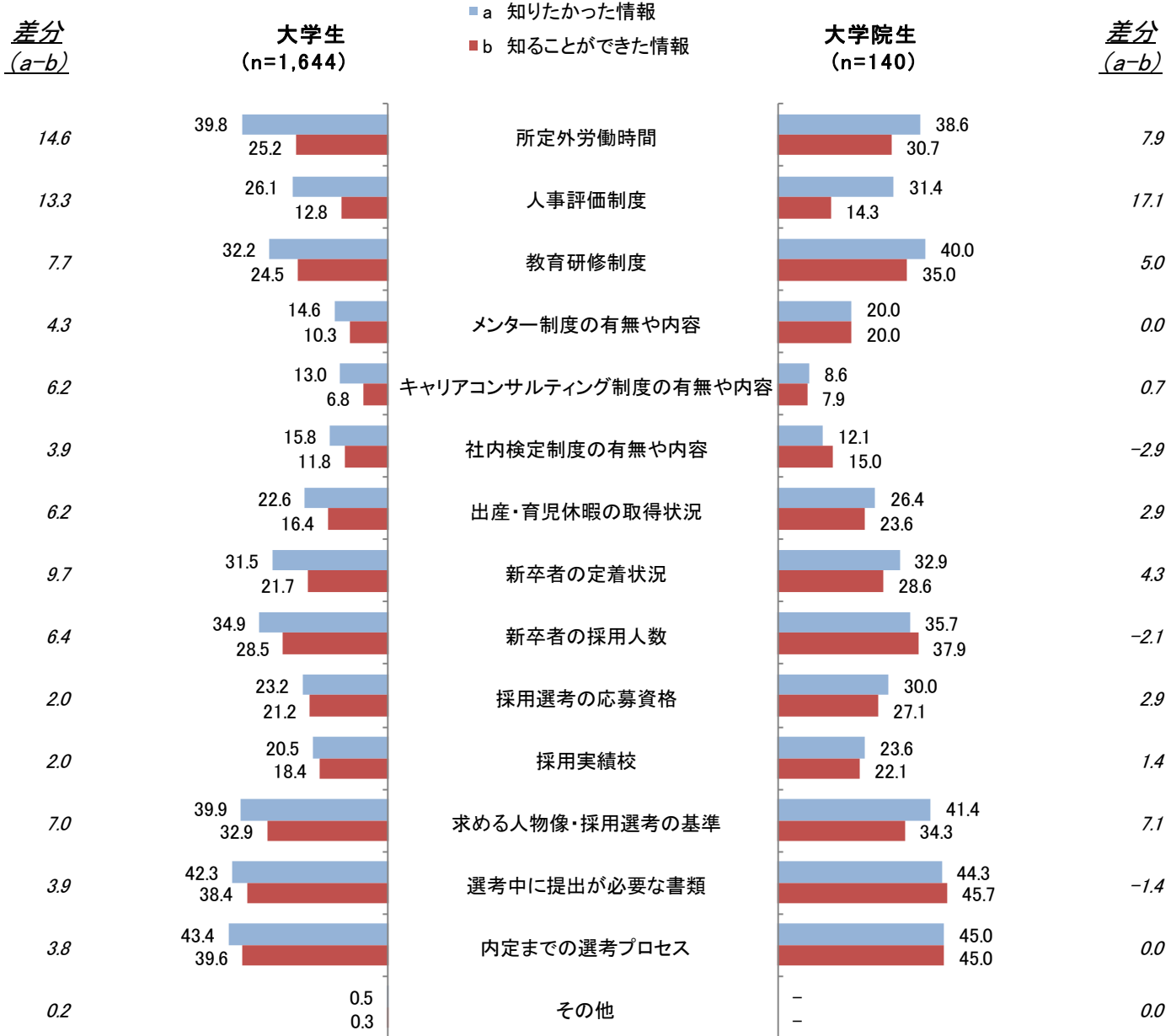
大学院生が就職活動中に知りたかった情報は、「具体的な仕事内容」「勤務地」「事業の安定性・将来性」の順に高い。知りたかった情報と知ることができた情報の差は、「将来の給与の見通し」「若手社員の仕事の様子」「職場の人間関係・雰囲気」の順に大きい。(図表15)

図表15 就職活動中に知りたかった情報、知ることができた情報(複数回答、単位=%)



⑧ 知りたかった情報、知ることができた情報

※前ページより続き

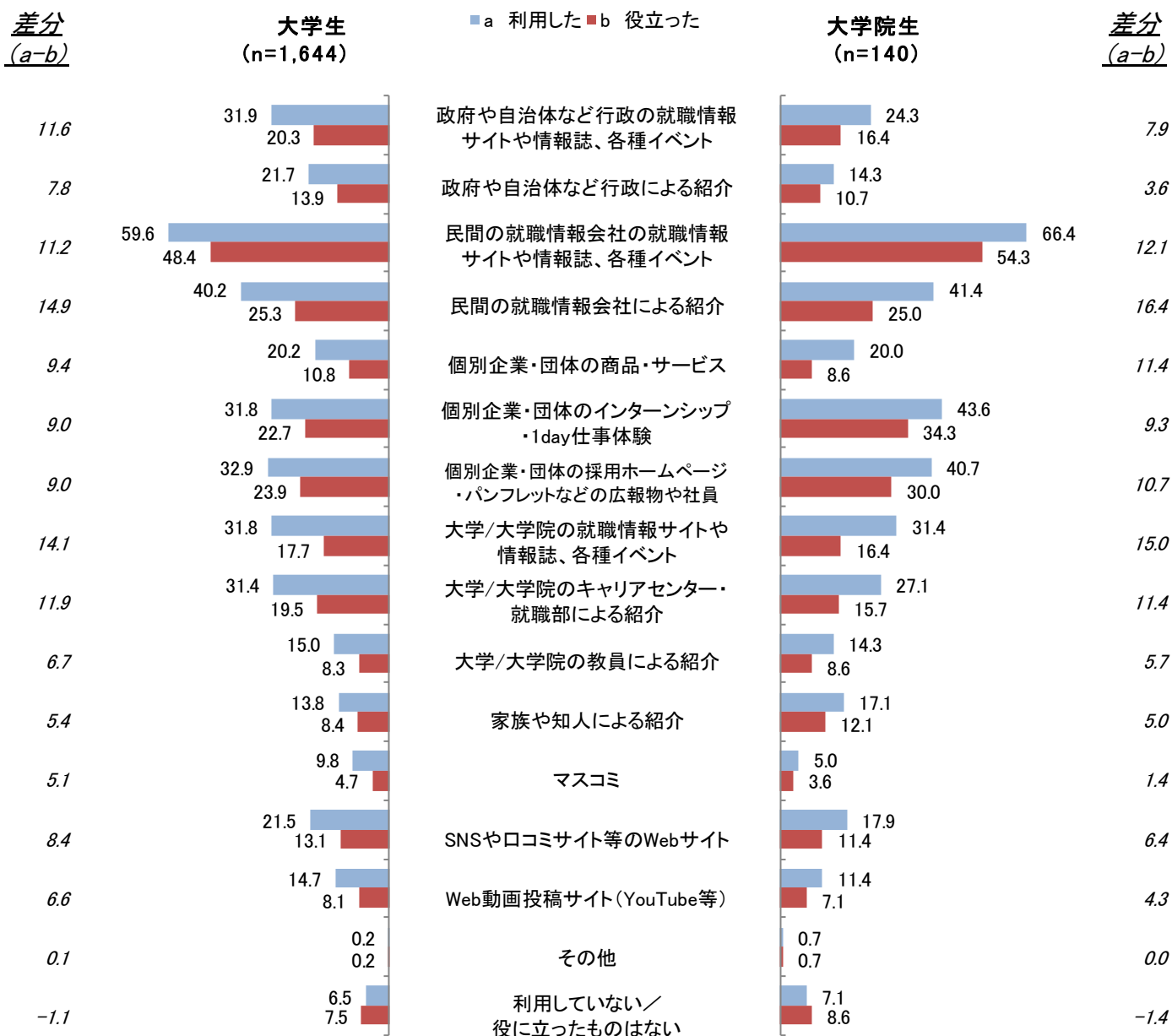


⑨就職予定先に関する情報源

企業・団体等を選ぶ際の情報源は、大学生・大学院生ともに「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」の割合が最も高い。

企業・団体等を選ぶ際の情報源として利用したものは、大学生・大学院生ともに、「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」の割合が最も高い。大学生が利用した割合が2番目に高いのは、「民間の就職情報会社による紹介」であった。大学院生が利用した割合が2番目に高いのは、「個別企業・団体のインターンシップ・1day仕事体験」であった。(図表16)

図表16 就職活動を通して、企業・団体等を選ぶ際の情報源(複数回答、単位=%)



⑨就職予定先に関する情報源

最終的な就職予定先の認知経路は、大学生・大学院生ともに「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」の割合が最も高い。2021年調査と比べると、理系の国公立大学生で「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」「大学のキャリアセンター・就職部による紹介」などが増加している。(図表17)

図表17 就職確定者の最終的な就職予定先の認知経路(複数回答、単位=%)

※就職確定者ベース

n=		政府や自治体など行政の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	政府や自治体など行政による紹介	民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	民間の就職情報会社による紹介	就職予定先企業・団体の商品・サービス	就職予定先企業・団体のインターンシップ・1day仕事体験	就職予定先企業・団体の採用HP・パンフレットなどの広報物や社員	大学/大学院の就職情報サイトや情報誌、各種イベント
大学生	1,439	14.2 (-2.6)	6.0 (-1.6)	40.2 (-0.8)	22.2 (-0.9)	10.8 (1.7)	10.0 (-2.8)	15.9 (-0.2)	17.9 (-1.2)
文系	980	14.5 (-3.2)	6.6 (-1.3)	41.6 (-2.1)	22.6 (-2.3)	11.0 (1.2)	9.6 (-2.9)	14.8 (-2.1)	14.9 (-2.3)
国公立	125	21.2 (1.6)	6.1 (-4.9)	40.3 (-7.4)	20.4 (-1.0)	8.0 (-7.1)	15.4 (3.0)	25.8 (5.4)	11.6 (-6.2)
私立	855	13.5 (-3.9)	6.7 (-0.8)	41.8 (-1.4)	22.9 (-2.4)	11.5 (2.3)	8.7 (-3.7)	13.2 (-3.3)	15.3 (-1.7)
理系	459	13.6 (-1.1)	4.7 (-2.2)	37.3 (2.5)	21.3 (2.2)	10.4 (2.8)	11.0 (-2.6)	18.1 (4.0)	24.4 (0.8)
国公立	137	16.6 (4.9)	3.9 (-4.6)	37.6 (6.9)	22.3 (-1.6)	10.0 (2.0)	12.2 (-0.0)	15.1 (-6.1)	20.8 (3.8)
私立	322	12.4 (-3.4)	5.1 (-1.3)	37.2 (0.9)	20.9 (3.5)	10.5 (3.1)	10.5 (-3.6)	19.4 (7.8)	26.0 (0.0)
大学院生	122	13.9 (4.1)	5.7 (2.9)	38.5 (0.1)	20.5 (1.6)	10.7 (1.6)	12.3 (1.1)	18.0 (-0.8)	14.8 (-6.2)

n=		大学/大学院のキャリアセンター・就職部による紹介	大学/大学院の教員による紹介	家族や知人による紹介	マスコミ	SNSや口コミサイト等のWebサイト	Web動画投稿サイト(YouTube等)	その他	わからない・覚えていない
大学生	1,439	15.2 (-3.0)	6.8 (-0.0)	10.3 (0.5)	3.3 (1.2)	5.6 (1.5)	2.6 (1.0)	1.5 (-1.0)	7.2 (1.6)
文系	980	13.5 (-2.3)	5.5 (1.4)	9.5 (-1.7)	3.8 (1.3)	6.9 (3.0)	3.2 (1.1)	1.7 (-1.0)	8.4 (3.4)
国公立	125	11.5 (-3.6)	4.2 (0.9)	12.0 (-0.4)	3.5 (-1.7)	5.3 (1.2)	1.4 (-0.8)	1.3 (-1.5)	5.7 (1.6)
私立	855	13.8 (-2.0)	5.7 (1.4)	9.1 (-2.0)	3.9 (1.7)	7.2 (3.3)	3.4 (1.3)	1.8 (-0.9)	8.8 (3.7)
理系	459	18.7 (-5.2)	9.5 (-3.5)	12.1 (5.5)	2.2 (1.0)	2.9 (-1.7)	1.2 (1.0)	1.1 (-1.1)	4.6 (-2.3)
国公立	137	15.2 (5.7)	10.3 (1.0)	9.0 (4.3)	2.6 (2.6)	0.4 (-1.2)	- (-)	- (-6.4)	7.9 (-4.3)
私立	322	20.2 (-8.8)	9.1 (-5.2)	13.4 (6.2)	2.0 (0.4)	3.9 (-1.8)	1.8 (1.5)	1.6 (0.8)	3.3 (-1.7)
大学院生	122	12.3 (1.8)	11.5 (-0.4)	15.6 (-0.5)	6.6 (3.1)	3.3 (-3.7)	0.8 (-2.7)	- (-4.9)	2.5 (-1.7)

* カッコ内は2021年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2021年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

⑩就職予定先を選ぶ際の重視点

就職予定先を選ぶ際の重視点は、大学生は「勤務地」、大学院生は「業種」の割合が最も高い。大学生は「業種」「勤務時間・休暇」、大学院生は「勤務地」「職種」「給与水準」の割合も高い。

就職予定先を選ぶ際の重視点は、大学生は「勤務地」、大学院生は「業種」の割合が最も高い。大学生では「業種」「勤務時間・休暇」の割合も高い。大学院生では「勤務地」「職種」「給与水準」の割合も高い。(図表18)

図表18 就職予定先を選ぶ際の重視点(複数回答、単位=%)

	大学生	文系				理系	国公立		東 北 海 道 ・ 関 東	中 部	近 畿	四 国 ・ 中 国	九 州	大学院生		
	(n=)	(1,644)	(1,097)	(135)	(962)		(547)	国公立						私立	(176)	(371)
業種	46.7	43.1	43.4	43.1	54.0	59.0	51.6	39.6	47.2	47.3	46.0	39.5	56.4	52.1		
職制(コース)※1	21.1	22.4	19.3	22.8	18.6	21.0	17.5	22.9	19.9	16.5	22.7	27.2	29.4	20.7		
職種※2	31.9	30.0	27.7	30.3	35.8	37.3	35.1	26.3	31.8	31.1	38.1	26.6	27.7	47.9		
勤務地	47.0	50.7	44.5	51.5	39.6	35.8	41.5	46.3	45.3	46.6	55.1	44.1	39.0	50.7		
雇用形態	25.7	25.1	19.7	25.9	26.7	30.6	24.9	22.1	27.1	20.4	27.1	26.2	30.3	25.0		
民間企業・団体か、 それ以外(公務員・教員など)か	13.2	14.0	14.2	14.0	11.6	14.2	10.3	17.1	10.7	14.4	13.6	15.5	17.5	14.3		
外資企業・団体か 内資企業・団体か※3	7.1	7.3	7.2	7.3	6.6	8.2	5.9	13.4	5.9	6.9	7.3	4.7	9.0	6.4		
大学・大学院の専攻やこれまでの 経験・取得資格を活かせるか	16.7	13.0	13.2	13.0	24.1	23.7	24.3	18.9	16.5	14.7	20.1	13.7	13.9	31.4		
従業員規模	9.2	9.4	8.6	9.5	8.9	4.4	11.0	9.5	7.5	8.9	14.4	6.8	7.6	8.6		
知名度	13.5	13.5	15.2	13.2	13.7	8.4	16.1	12.5	10.3	15.0	18.6	14.2	14.5	13.6		
経営理念・ビジョン	16.2	16.3	18.6	15.9	16.0	15.1	16.4	17.1	16.1	12.7	17.8	8.2	25.3	19.3		
事業の安定性・将来性	24.6	26.1	29.4	25.7	21.5	22.7	20.9	17.8	25.5	18.1	32.0	15.5	29.5	34.3		
給与水準	32.7	33.8	28.6	34.6	30.3	25.0	32.9	28.1	33.5	31.1	34.9	28.7	33.5	43.6		
勤務時間・休暇	38.3	39.9	34.1	40.7	35.1	29.4	37.8	35.3	40.3	40.8	38.6	35.9	25.4	36.4		
組織風土・職場の人間関係	23.2	25.4	29.4	24.9	18.7	12.2	21.8	26.1	25.2	19.3	25.4	13.1	20.6	32.9		
内定取得の可能性	19.0	19.4	19.0	19.4	18.1	18.6	17.9	18.0	20.5	18.7	18.6	15.0	16.6	17.9		
就職活動の負荷・手間	12.3	14.2	8.7	15.0	8.4	10.1	7.6	14.9	13.9	8.6	13.4	10.2	9.4	9.3		
その他	4.7	4.7	3.8	4.8	4.6	2.7	5.6	8.0	3.4	3.7	8.3	1.4	3.5	3.6		

※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑪在学中に実施したこと

**在学中に実施した活動は、大学生で「アルバイト」、大学院生で「修論」の割合が最も高い。
大学生は「インターンシップ・1day仕事体験」が減少している。**

在学中に実施した活動は、大学生は「アルバイト」、大学院生は「修論」の割合が最も高い。属性別にみると、文系大学生より理系大学生の方が「卒論、卒業研究」「ゼミや研究室での活動」などの割合が高い。

2021年調査と比べると、大学生では「インターンシップ・1day仕事体験」が減少している。(図表19)

図表19 在学中に実施した活動(複数回答、単位=%)

	大学生 (n=)	文系		理系		東 北 海 道 ・ 関 東	中 部	近 畿	四 国 ・ 中 国	九 州	大 学 院 生			
		国 立	私 立	国 立	私 立									
海外留学	9.5 (-1.5)	11.2 (-3.0)	17.1 (-3.6)	10.3 (-3.0)	6.1 (1.4)	8.1 (2.7)	5.2 (0.7)	9.7 (2.9)	10.6 (-3.4)	6.7 (-2.7)	8.8 (-2.9)	9.2 (5.0)	12.4 (7.1)	10.0 (-5.6)
サークル活動	32.4 (-4.8)	30.7 (-6.4)	45.7 (-4.3)	28.6 (-6.9)	35.9 (-1.7)	38.4 (-3.1)	34.7 (-1.4)	38.2 (7.5)	37.0 (-5.9)	21.4 (-11.5)	32.3 (-2.4)	44.9 (18.0)	22.3 (-14.9)	42.1 (3.4)
部活動	21.0 (4.6)	19.0 (1.7)	23.7 (-9.1)	18.3 (2.9)	25.1 (10.5)	28.0 (9.7)	23.6 (10.5)	16.5 (-3.3)	19.7 (4.5)	28.5 (11.2)	22.8 (5.2)	13.0 (-0.7)	14.3 (-2.0)	25.7 (4.5)
ボランティア	19.0 (-2.5)	20.5 (-3.5)	20.8 (-12.7)	20.5 (-2.4)	15.9 (-0.5)	18.2 (0.7)	14.8 (-1.1)	23.2 (-5.3)	18.0 (-0.4)	19.7 (-8.3)	18.3 (1.2)	28.7 (1.9)	13.6 (-13.0)	17.9 (4.1)
アルバイト	74.5 (-1.1)	74.0 (-2.6)	73.3 (-11.7)	74.1 (-1.4)	75.5 (1.9)	67.4 (2.2)	79.3 (2.7)	74.8 (-7.3)	78.7 (3.4)	71.1 (-4.9)	74.3 (-1.1)	70.7 (-4.6)	63.9 (-4.8)	73.6 (-5.2)
インターンシップ・ 1day仕事体験 ※1	38.4 (-5.7)	38.7 (-5.1)	46.7 (-5.7)	37.6 (-5.1)	37.9 (-7.0)	41.2 (2.4)	36.3 (-10.9)	31.8 (-6.4)	42.6 (-3.7)	37.7 (-10.7)	36.4 (-2.2)	28.6 (-11.7)	36.4 (-12.2)	54.3 (1.2)
公務員・教員採用試験のための 教育・学習活動	11.7 (-0.8)	13.7 (-0.3)	23.1 (-8.0)	12.4 (0.5)	7.9 (-1.7)	12.6 (-5.4)	5.6 (-0.8)	15.8 (1.7)	12.7 (1.6)	9.9 (-4.9)	7.4 (-4.5)	19.5 (0.9)	13.4 (2.6)	9.3 (-0.7)
英語などの外国語学習	17.8 (-2.1)	18.7 (-3.0)	27.6 (0.6)	17.5 (-3.6)	16.1 (-0.1)	23.0 (4.6)	12.9 (-2.6)	13.4 (-5.7)	18.8 (-2.6)	17.2 (-5.5)	18.3 (-0.9)	13.7 (4.1)	20.4 (4.3)	30.0 (-1.9)
趣味など、自分の興味がある 分野の活動	40.0 (-3.9)	41.1 (-3.5)	49.5 (-3.0)	39.9 (-3.7)	37.9 (-4.6)	35.9 (3.6)	38.9 (-7.4)	38.0 (-8.3)	40.8 (-1.3)	38.0 (-12.6)	42.7 (1.0)	35.6 (-6.7)	39.4 (-6.0)	45.7 (-8.7)
スポーツ関連の活動	13.3 (3.6)	13.4 (4.0)	15.7 (-1.3)	13.1 (4.6)	13.1 (2.6)	15.2 (3.4)	12.1 (2.1)	16.3 (1.4)	12.3 (2.5)	18.2 (9.6)	10.7 (0.1)	10.9 (5.7)	12.2 (4.7)	10.7 (-4.3)
資格取得・検定受検のための 学習活動	35.9 (3.5)	36.0 (1.0)	41.8 (-0.1)	35.2 (1.0)	35.8 (8.6)	39.4 (20.1)	34.1 (4.0)	35.3 (-0.1)	36.0 (6.6)	35.4 (-0.1)	37.0 (2.7)	35.8 (-3.0)	35.0 (6.1)	35.7 (-7.4)
ゼミや研究室での活動	53.2 (0.5)	51.3 (-0.4)	59.8 (-14.1)	50.1 (1.1)	57.1 (2.3)	58.9 (5.1)	56.3 (1.0)	53.2 (3.1)	56.7 (2.7)	52.5 (-7.2)	51.5 (4.8)	46.6 (-2.7)	45.6 (-7.4)	75.0 (-1.3)
授業への出席	61.1 (-2.9)	61.5 (-1.8)	70.2 (-6.6)	60.3 (-1.3)	60.4 (-5.2)	59.2 (-6.4)	60.9 (-4.6)	57.6 (-7.0)	65.4 (1.0)	64.2 (-4.1)	56.9 (-3.4)	59.9 (4.5)	46.5 (-24.7)	75.7 (2.0)
卒論、卒業研究／修論	59.4 (1.2)	55.1 (0.2)	59.1 (-14.5)	54.6 (2.0)	68.0 (3.1)	69.2 (2.9)	67.4 (3.0)	60.0 (8.8)	59.4 (3.3)	61.8 (-3.5)	55.9 (-1.3)	65.0 (5.8)	58.5 (-8.5)	82.1 (-3.5)
あてはまるものはない	4.1 (-0.0)	4.3 (0.9)	2.9 (2.2)	4.5 (0.8)	3.7 (-2.0)	5.7 (-1.9)	2.7 (-2.2)	3.6 (-3.1)	3.2 (-0.3)	6.3 (2.7)	4.4 (-1.4)	- (-0.9)	6.2 (1.3)	2.9 (-0.3)

* カッコ内は2021年とのスコア差を掲載。* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 2021年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

※1: 2022年卒調査では「インターンシップ・1day仕事体験」について、2021年卒調査では「インターンシップ(1日以内のプログラムを含む)」について聴取している

⑫就職活動による各活動への支障状況

就職活動による各活動への支障状況は、大学生で「部活動」、大学院生で「大学の授業・研究」の割合が最も高い。大学生の「部活動」の割合が大幅に増加している。

就職活動による各活動への支障状況(*)は、大学生では「部活動」の割合が最も高い。次いで「アルバイト」が高い。大学院生では「大学の授業・研究」の割合が最も高い。次いで「アルバイト」が高い。

2021年調査と比べると、大学生では「部活動」の割合が増加している。特に理系大学生では大幅に増加している。大学院生では、「趣味など、自分の興味がある分野の活動」の割合が増加している。(図表20)

*それぞれの項目について、「支障が生じた」「やや支障が生じた」「あまり支障は生じなかった」「支障は生じなかった」の単一回答のうち、「支障が生じた」「やや支障が生じた」の計

図表20 各活動実施者の就職活動による活動への支障状況(各単一回答、単位=%)

※各実施者ベース

	大学生			大学院生
	文系	理系		
大学の授業・研究	35.8 (4.2)	32.5 (1.3)	42.4 (9.9)	41.4 (-0.4)
海外留学	26.3 (0.2)	21.2 (-5.4)	44.9 (21.9)	14.3 (10.3)
サークル活動	27.2 (4.9)	21.3 (-4.6)	37.2 (22.2)	8.5 (-7.7)
部活動	44.0 (11.8)	39.2 (1.8)	51.2 (31.5)	16.7 (-3.9)
ボランティア	26.2 (9.0)	23.2 (5.4)	33.9 (18.4)	16.0 (2.4)
アルバイト	43.8 (1.6)	45.1 (-0.1)	41.4 (5.3)	35.0 (0.8)
インターンシップ・1day仕事体験 ※1	20.8 (0.9)	19.7 (0.1)	23.1 (2.6)	18.4 (2.0)
資格取得・語学習得など 大学外の学習	26.1 (2.7)	23.6 (-0.6)	31.1 (9.3)	14.3 (-3.2)
趣味など、自分の興味がある 分野の活動	39.6 (4.3)	39.0 (1.8)	41.0 (9.7)	28.1 (8.6)
スポーツ関連の活動	41.9 (5.7)	37.6 (-2.3)	50.7 (21.2)	46.7 (30.0)

▼回答者数(単位=人)

	回答者数(単位=人)			
	大学生	文系	理系	大学院生
大学の授業・研究	1,644	1,097	547	140
海外留学	156	122	34	14
サークル活動	533	336	196	59
部活動	345	208	137	36
ボランティア	312	225	87	25
アルバイト	1,225	812	413	103
インターンシップ・1day仕事体験 ※1	632	425	207	76
資格取得・語学習得など 大学外の学習	1,644	1,097	547	140
趣味など、自分の興味がある 分野の活動	658	451	207	64
スポーツ関連の活動	219	147	72	15

※支障が生じた・計:「支障が生じた」+「やや支障が生じた」

*カッコ内は2021年とのスコア差を掲載。*属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

*2021年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けにした。(回答者数が30未満のスコアを除く) *回答者数が30未満の値は青色にした。

※1:2022年卒調査では「インターンシップ・1day仕事体験」について、2021年卒調査では「インターンシップ(1日以内のプログラムを含む)」について聴取している

⑬自己分析・企業分析等への自己評価【就職活動を開始した当初】

就職予定先に「勤続志向」であった学生は、就職活動を開始した当初の自己分析・企業分析等が十分であったと自己評価している傾向がある。

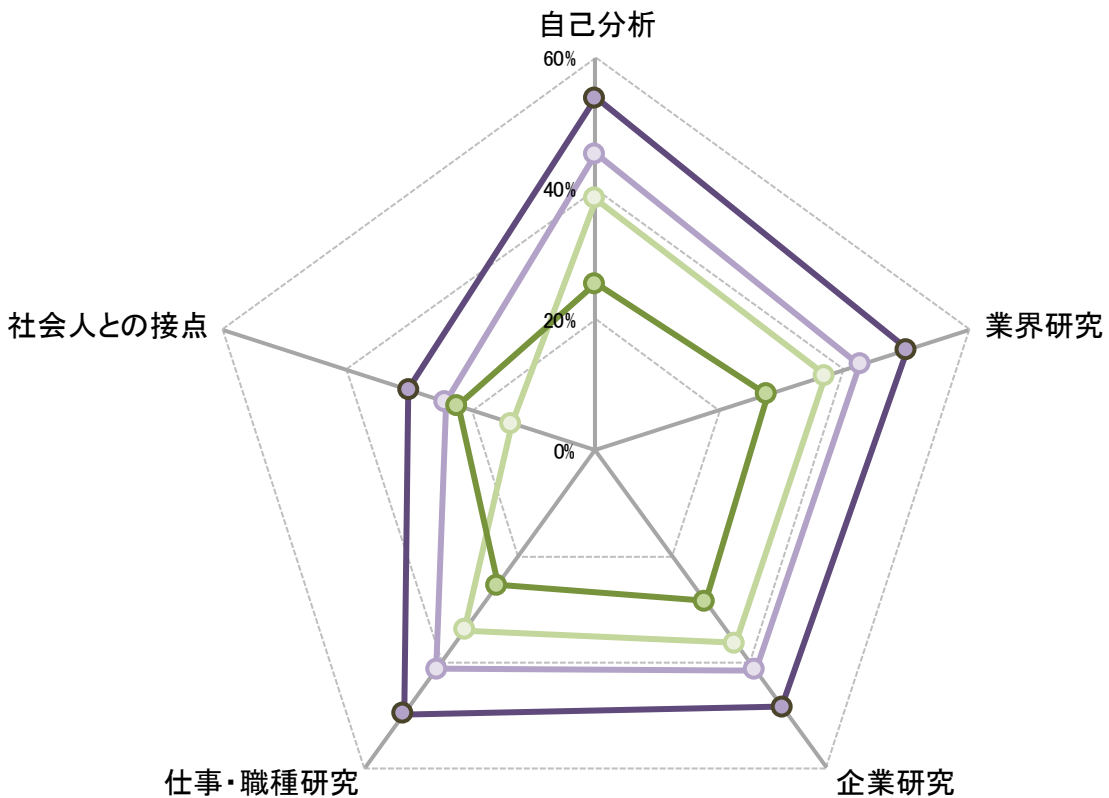
就職予定先に「勤続志向」（「その企業・団体等でずっと仕事を続けたい」「当面はその企業・団体等で仕事を続けたい」）であった学生は、就職活動を開始した当初の自己分析・企業分析等について十分・計(*)であったと自己評価する割合が高い。一方、「転職志向」（「転職することも視野に入れている」「すぐに転職したいと思っている」）であった学生は、就職活動を開始した当初の自己分析・企業分析等について十分であったと自己評価する割合が低く、特に「すぐに転職したいと思っている」学生においては、「仕事・職種研究」について割合が低い。（図表21-1）

*それぞれの項目について、「十分」「どちらかというと十分」「どちらかというと不十分」「不十分」「やっていない」の単一回答（無回答含む）のうち、「十分」「どちらかというと十分」の計

図表21-1 自己分析・企業分析等への自己評価【就職活動を開始した当初】（各単一回答、単位=%）

※スコアは十分・計（「十分」+「どちらかというと十分」）

- 勤続志向：その企業・団体等でずっと仕事を続けたい (n=504)
- 勤続志向：当面はその企業・団体等で仕事を続けたい (n=727)
- 転職志向：転職することも視野に入れている (n=273)
- 転職志向：すぐに転職したいと思っている (n=56)



⑬自己分析・企業分析等への自己評価【就職活動を開始した当初】

図表21-2 自己分析・企業分析等への自己評価【就職活動を開始した当初】

※スコアは十分・計(「十分」+「どちらかという」と十分)

		自己分析	業界研究	企業研究	仕事・職種研究	社会人との接点
	n=					
大学生	1,644	45.3	42.8	41.7	41.6	24.6
文系	1,097	42.8	39.7	41.8	40.1	22.9
国公立	135	41.1	36.9	42.3	41.1	28.9
私立	962	43.0	40.1	41.7	40.0	22.1
理系	547	50.3	49.0	41.5	44.5	28.0
国公立	176	53.6	52.2	49.1	51.8	33.4
私立	371	48.8	47.4	37.9	41.0	25.4
北海道・東北	121	41.9	44.7	47.7	49.0	25.9
関東	669	44.5	37.6	38.1	39.5	21.8
中部	316	41.7	45.7	40.9	39.4	27.9
近畿	325	49.3	46.0	45.8	44.4	23.7
中国・四国	85	54.9	46.9	41.3	44.4	20.9
九州	129	45.1	49.9	46.5	41.3	34.5
大学院生	140	40.0	35.7	40.7	40.7	15.0

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑭就職予定先に対するイメージ

就職予定先に「勤続志向」であった学生は、「この就職によって将来のキャリアは万全だ」「もう一度就職活動をするとしても今の就職予定先と同じ企業(団体)に就職したい」等のイメージを持っている。

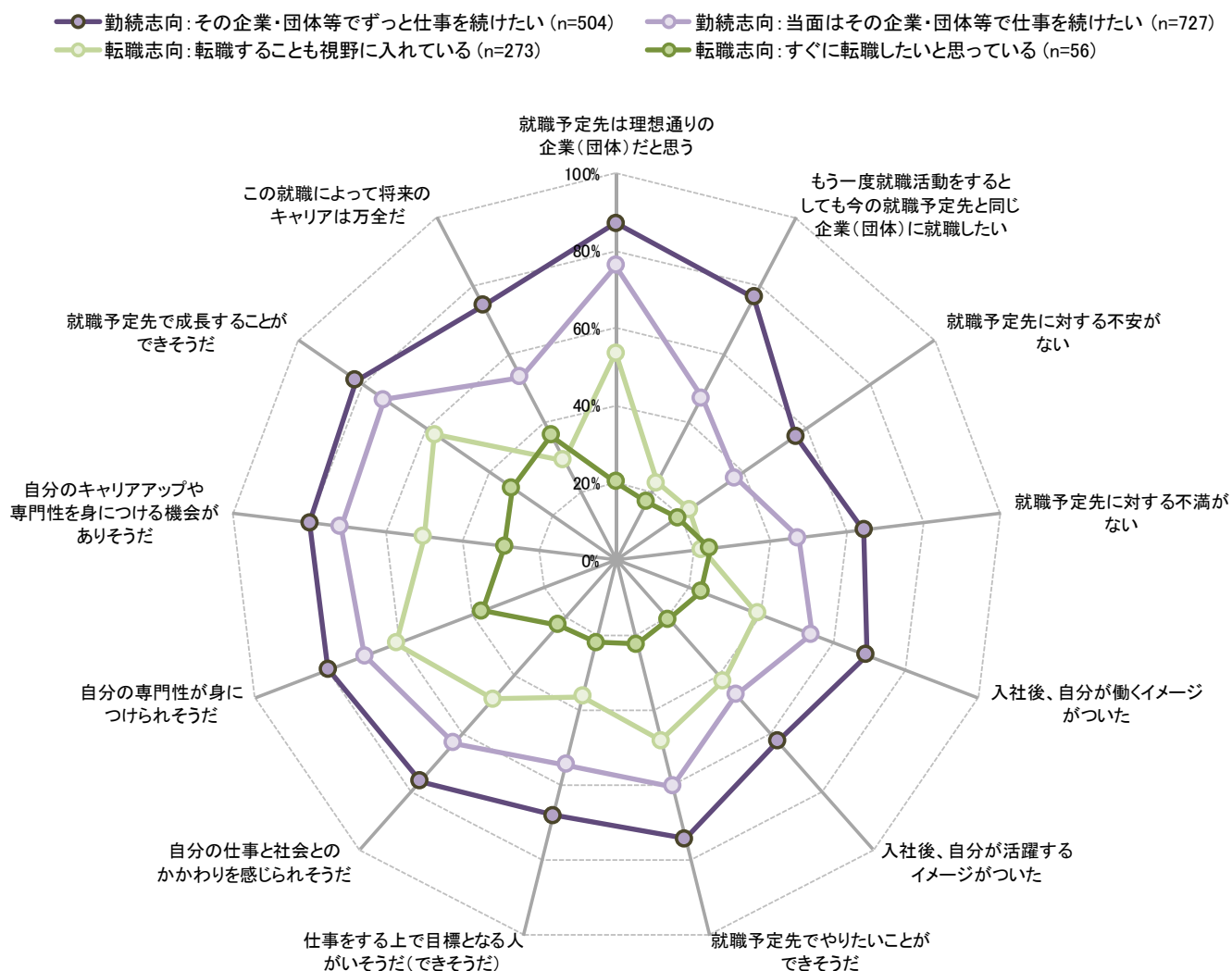
就職予定先に「勤続志向」(「その企業・団体等でずっと仕事を続けたい」「当面はその企業・団体等で仕事を続けたい」)であった学生は、就職予定先のイメージについてあてはまる・計(*)の割合が高い。特に「その企業・団体等でずっと仕事を続けたい」と回答した学生では、「この就職によって将来のキャリアは万全だ」「もう一度就職活動をするとしても今の就職予定先と同じ企業(団体)に就職したい」等の項目について、他の学生に比べてあてはまる・計の割合が高い。

「すぐに転職したいと思っている」と回答した学生では、特に「もう一度就職活動をするとしても今の就職予定先と同じ企業(団体)に就職したい」「就職予定先に対する不安がない」について、あてはまる・計の割合が低い。(図表22-1)

*それぞれの項目について、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」「どちらかというにあてはまらない」「あてはまらない」「わからない」の単一回答のうち、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の計

図表22-1 就職予定先に対するイメージ(各単一回答、単位=%)

※スコアはあてはまる・計(「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」)



⑭就職予定先に対するイメージ

図表22-2 就職予定先のイメージ(各単一回答、単位=%)

※スコアはあてはまる・計(「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」)

	大学生	文系		理系		東 北 海 道	関 東	中 部	近 畿	四 国 ・ 中 国	九 州	大学 院 生		
	(n=)	(1,644)	(1,097)	国 公 立 (135)	私 立 (962)								理 系 (547)	国 公 立 (176)
就職予定先は理想通りの企業(団体)だと思う	64.0	63.7	69.6	62.9	64.6	60.7	66.5	63.8	64.7	64.3	63.1	76.8	54.4	70.7
もう一度就職活動をするとしても今の就職予定先と同じ企業(団体)に就職したい	44.2	42.8	49.9	41.8	46.9	50.3	45.3	37.3	45.9	44.5	40.7	52.4	44.2	55.0
就職予定先に対する不安がない	35.3	34.4	36.5	34.1	37.0	38.9	36.1	35.1	34.7	39.1	30.7	40.6	36.8	35.0
就職予定先に対する不満がない	40.8	40.1	45.5	39.3	42.2	46.3	40.3	36.1	40.7	46.4	35.3	43.7	43.5	52.1
入社後、自分が働くイメージがついた	48.5	46.4	49.9	46.0	52.5	53.8	51.9	44.1	49.2	49.9	46.5	48.6	49.9	45.7
入社後、自分が活躍するイメージがついた	44.3	44.7	41.4	45.1	43.5	44.2	43.1	41.6	45.3	46.2	41.3	44.8	43.7	38.6
就職予定先でやりたいことができそう	53.5	51.8	60.4	50.6	57.0	54.7	58.1	46.4	53.0	53.7	56.1	56.5	54.3	55.7
仕事をする上で目標となる人がいそう(できそう)	47.4	47.3	50.8	46.8	47.7	48.6	47.3	42.3	46.8	46.2	48.3	53.5	52.6	50.7
自分の仕事と社会とのかかわりを感じられそう	54.6	54.7	64.7	53.3	54.2	58.4	52.3	54.2	55.5	52.6	51.7	67.3	53.5	66.4
自分の専門性が身につけられそう	60.9	59.6	60.8	59.4	63.4	55.6	67.1	52.3	64.7	61.5	58.8	54.9	56.4	67.9
自分のキャリアアップや専門性を身につける機会がありそう	59.7	58.7	61.5	58.3	61.6	57.8	63.4	54.0	60.7	63.1	59.3	59.7	52.3	70.0
就職予定先で成長することができそう	61.9	60.9	66.6	60.1	64.0	62.1	64.9	54.6	62.3	66.1	59.7	65.8	59.7	72.1
この就職によって将来のキャリアは万全だ	48.4	49.1	52.6	48.6	46.9	48.6	46.1	43.2	49.2	50.0	46.0	52.0	48.2	48.6

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

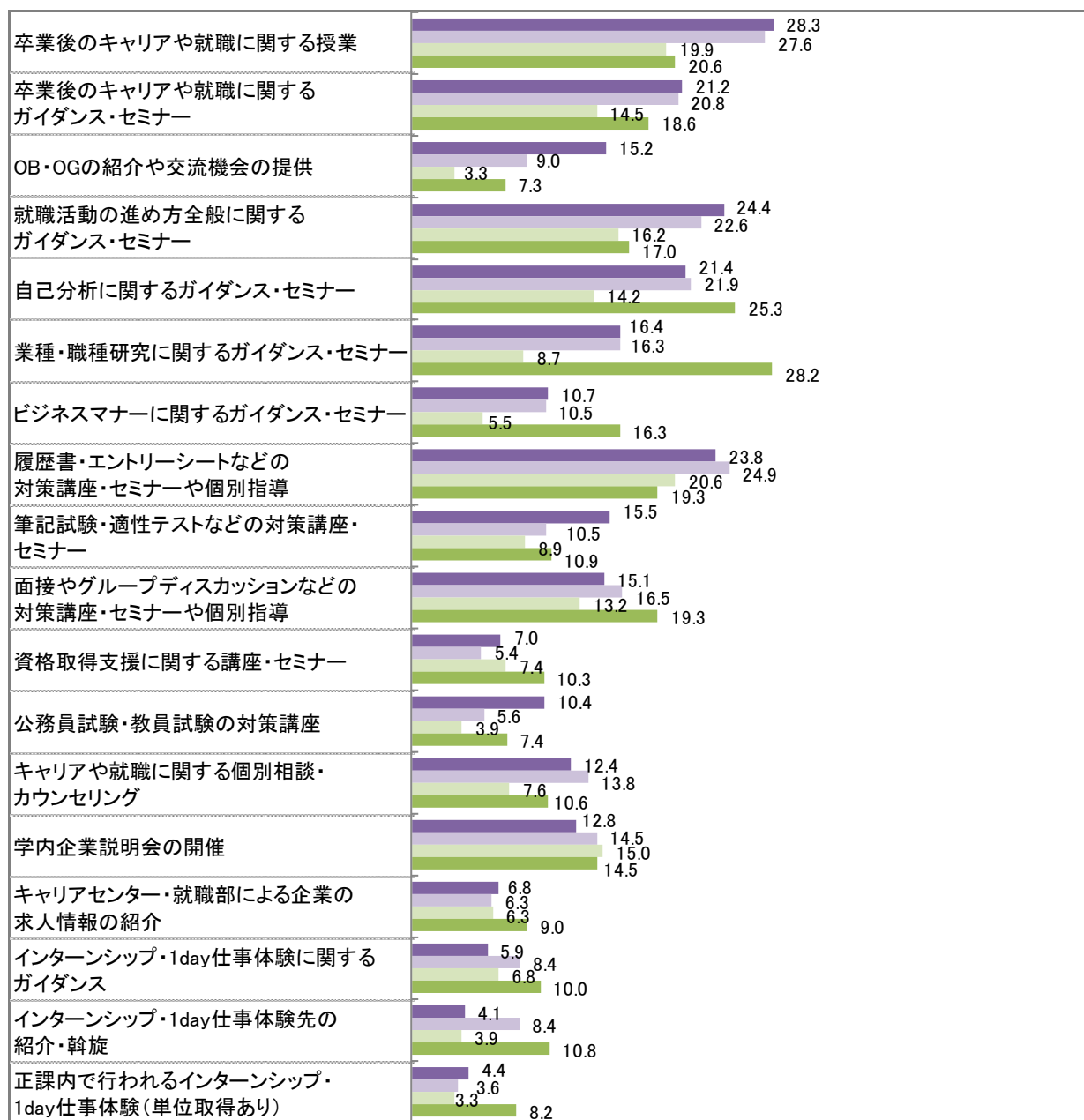
⑮大学・大学院の就職支援で役立った点

就職予定先に「勤続志向」であった学生は、「卒業後のキャリアや就職に関する授業」が役立ったと評価している。就活ノウハウに関する支援の割合も高い。

就職予定先に「勤続志向」（「その企業・団体等でずっと仕事を続けたい」「当面はその企業・団体等で仕事を続けたい」）であった学生の、大学・大学院の就職支援で役立った点としては、「卒業後のキャリアや就職に関する授業」の割合が最も高い。「就職活動の進め方全般に関するガイダンス・セミナー」「履歴書・エントリーシートなどの対策講座・セミナーや個別指導」といった就活ノウハウに関する支援の割合も高い。（図表23-1）

図表23-1 大学・大学院の就職支援で役立った点（複数回答、単位=%）

- 勤続志向：その企業・団体等でずっと仕事を続けたい(n=504)
- 勤続志向：当面はその企業・団体等で仕事を続けたい(n=727)
- 転職志向：転職することも視野に入れている(n=273)
- 転職志向：すぐに転職したいと思っている(n=56)



⑮大学・大学院の就職支援で役立った点

図表23-2 大学・大学院の就職支援で役立った点(複数回答、単位=%)

	大学生				理系			東北 北海道	関東	中部	近畿	四国 中国	九州	大学院生
	(n=)	文系	国公立	私立	国公立	私立	大学院生							
	(1,644)	(1,097)	(135)	(962)	(547)	(176)	(371)	(121)	(669)	(316)	(325)	(85)	(129)	(140)
卒業後のキャリアや就職に関する授業	28.0	29.4	23.4	30.2	25.1	28.5	23.5	36.3	26.9	27.8	27.5	24.9	29.2	11.4
卒業後のキャリアや就職に関するガイダンス・セミナー	21.3	20.4	15.0	21.1	23.1	29.3	20.2	21.1	17.8	22.0	24.0	28.3	26.3	9.3
OB・OGの紹介や交流機会の提供	10.0	8.8	7.7	9.0	12.3	14.6	11.3	18.8	6.8	8.3	11.8	9.5	18.4	12.9
就職活動の進め方全般に関するガイダンス・セミナー	20.8	20.6	18.2	21.0	21.1	21.6	20.9	25.1	21.5	19.9	18.3	17.3	23.9	18.6
自己分析に関するガイダンス・セミナー	20.7	20.2	11.7	21.4	21.7	23.0	21.0	21.0	18.6	20.5	25.6	16.9	22.2	10.0
業種・職種研究に関するガイダンス・セミナー	14.7	13.6	9.3	14.2	16.9	26.6	12.4	21.0	13.5	12.6	15.9	15.1	17.5	10.0
ビジネスマナーに関するガイダンス・セミナー	10.0	9.8	4.4	10.6	10.3	12.2	9.4	5.5	7.7	12.4	11.8	11.5	14.5	4.3
履歴書・エントリーシートなどの対策講座・セミナーや個別指導	22.5	22.2	13.4	23.5	23.0	18.2	25.2	12.0	19.7	26.7	29.3	21.4	19.8	17.1
筆記試験・適性テストなどの対策講座・セミナー	12.0	13.4	8.8	14.0	9.4	10.0	9.2	11.4	11.0	12.3	14.5	16.2	8.5	4.3
面接やグループディスカッションなどの対策講座・セミナーや個別指導	15.1	16.2	13.0	16.7	12.9	14.2	12.3	14.6	13.4	13.5	19.1	19.5	15.5	14.3
資格取得支援に関する講座・セミナー	7.2	8.6	2.3	9.5	4.4	8.1	2.6	5.3	7.2	6.0	8.1	8.8	8.9	1.4
公務員試験・教員試験の対策講座	7.7	7.3	8.8	7.1	8.4	14.2	5.7	10.2	6.0	8.2	7.0	10.5	12.8	2.9
キャリアや就職に関する個別相談・カウンセリング	12.0	12.3	7.7	13.0	11.5	11.6	11.4	9.4	10.6	11.2	15.2	13.8	15.2	5.0
学内企業説明会の開催	14.4	13.1	11.0	13.4	17.1	18.7	16.3	20.9	13.7	10.1	15.3	17.6	18.3	14.3
キャリアセンター・就職部による企業の求人情報の紹介	7.3	5.7	4.6	5.8	10.6	9.2	11.3	8.3	6.6	5.9	6.3	8.8	15.0	1.4
インターンシップに関するガイダンス	7.3	6.3	4.1	6.6	9.5	10.6	8.9	8.8	5.6	8.2	8.9	8.4	8.5	3.6
インターンシップ先の紹介・斡旋	6.3	5.9	4.2	6.2	7.0	11.2	5.0	5.9	3.6	7.8	8.8	8.6	9.0	4.3
正課内で行われるインターンシップ(単位取得あり)	4.0	4.1	1.5	4.4	3.8	10.6	0.7	2.8	1.9	4.7	6.1	9.8	5.5	1.4

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑩自己分析・企業分析等への自己評価【就職活動を開始した当初】(大学低学年時のキャリア教育受講経験別)

必修・選択・正課以外に関わらず、大学低学年(1~2年)時にキャリア教育を受けている学生は、受けていない学生よりも就職活動開始当初の自己分析や企業分析等への自己評価が高い。

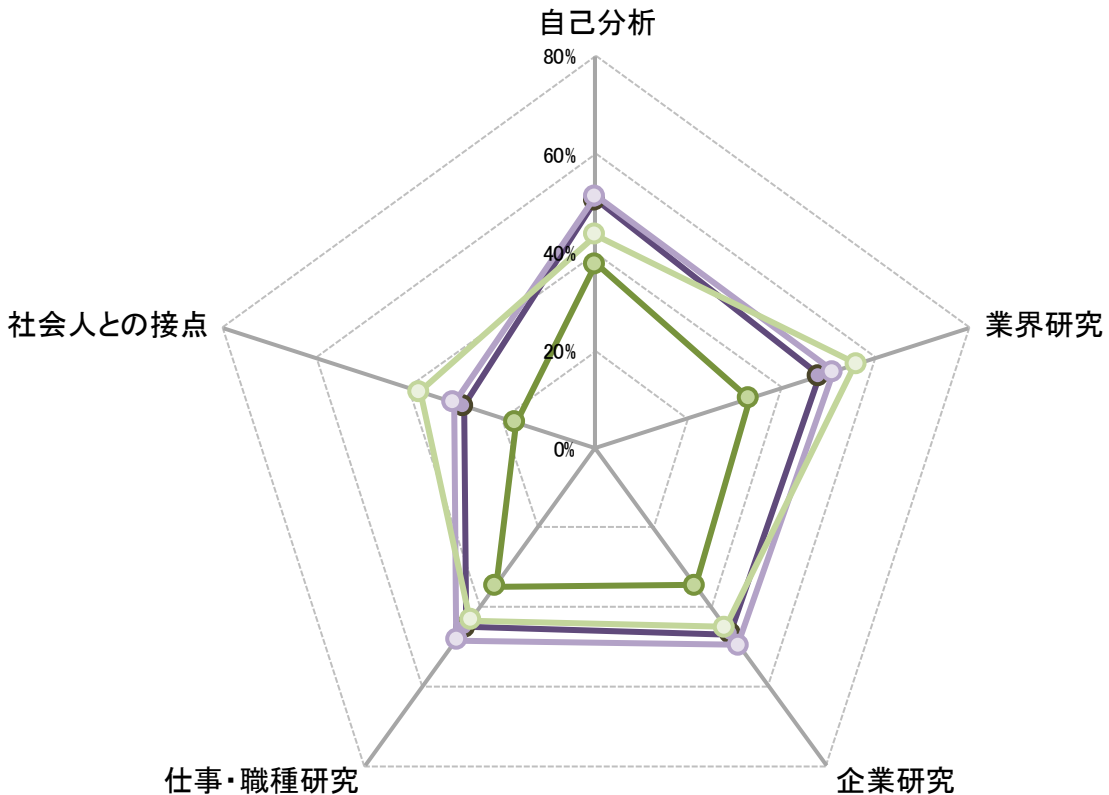
大学低学年(1~2年)時に、必修・選択・正課以外に関わらずキャリア教育を受けた学生は、就職活動を開始した当初の自己分析・企業分析等について十分・計(*)であったと自己評価する割合が高い。一方、低学年時にはキャリア教育を受けていない学生は、就職活動を開始した当初の自己分析・企業分析等について十分であったと自己評価する割合が低く、特に「社会人との接点」について割合が低い。(図表24-1)

*それぞれの項目について、「十分」「どちらかというと十分」「どちらかというと不十分」「不十分」「やっていない」の単一回答(無回答含む)のうち、「十分」「どちらかというと十分」の計

図表24-1 自己分析・企業分析等への自己評価【就職活動を開始した当初】(各単一回答、単位=%)

※スコアは十分・計(「十分」+「どちらかというと十分」)

- 必修科目の授業を受けた (n=863)
- 選択科目の授業を受けた (n=608)
- 正課以外の講座を受けた(キャリアセンター主催等) (n=155)
- 低学年時には受けていない (n=620)



⑩自己分析・企業分析等への自己評価【就職予定先を選んだ時点】(大学低学年時のキャリア教育受講経験別)

必修・選択・正課以外に関わらず、大学低学年(1~2年)時にキャリア教育を受けている学生は、受けていない学生よりも就職予定先を選んだ時点での自己分析や企業分析等への自己評価が高い。

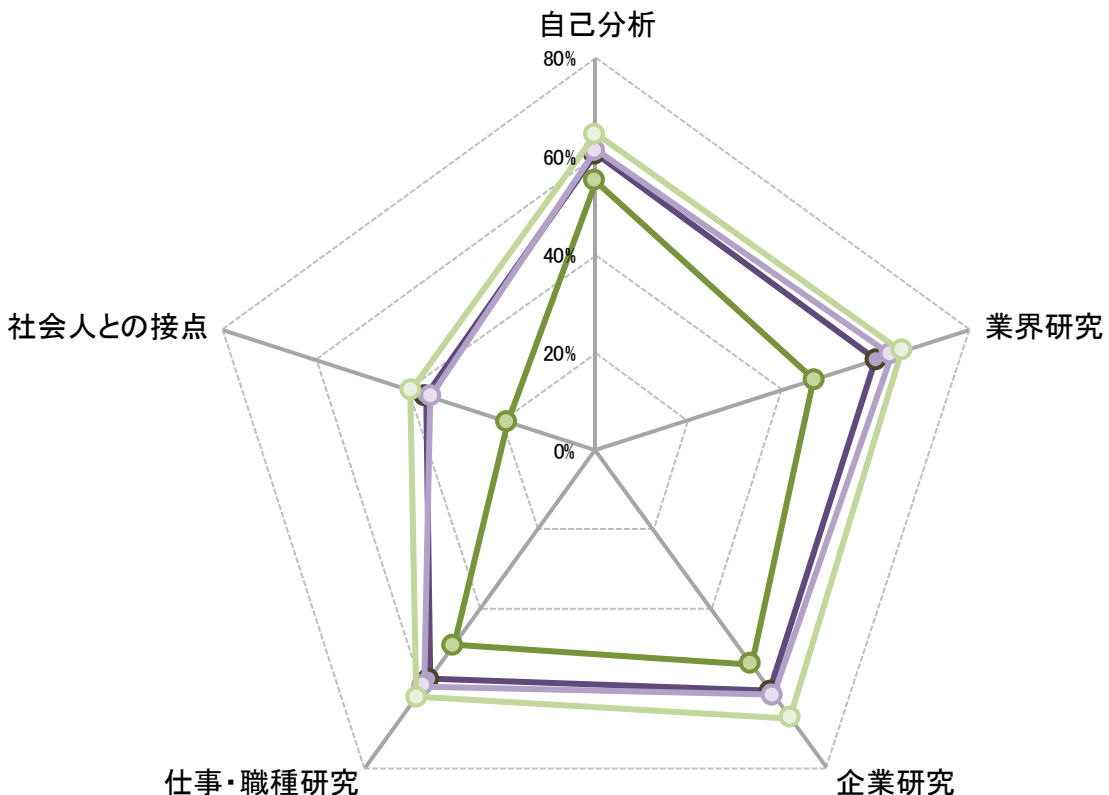
大学低学年(1~2年)時に、必修・選択・正課以外に関わらずキャリア教育を受けた学生は、就職予定先を選んだ時点での自己分析・企業分析等について十分・計(*)であったと自己評価する割合が高い。一方、低学年時にはキャリア教育を受けていない学生は、就職予定先を選んだ時点での自己分析・企業分析等について十分であったと自己評価する割合が低く、特に「社会人との接点」についての割合が低い。(図表24-2)

*それぞれの項目について、「十分」「どちらかというと十分」「どちらかというと不十分」「不十分」「やっていない」の単一回答(無回答含む)のうち、「十分」「どちらかというと十分」の計

図表24-2 自己分析・企業分析等への自己評価【就職予定先を選んだ時点】(各単一回答、単位=%)

※スコアは十分・計(「十分」+「どちらかというと十分」)

- 必修科目の授業を受けた (n=863)
- 選択科目の授業を受けた (n=608)
- 正課以外の講座を受けた(キャリアセンター主催等) (n=155)
- 低学年時には受けていない (n=620)



⑰従業員規模の志向

大学生の志望従業員規模は、「大手派」が4割前半、「中堅・中小企業派」が3割強、「こだわらない派」が2割半ば。大学院生や国公立大学の文系大学生で、大手志向が強い。

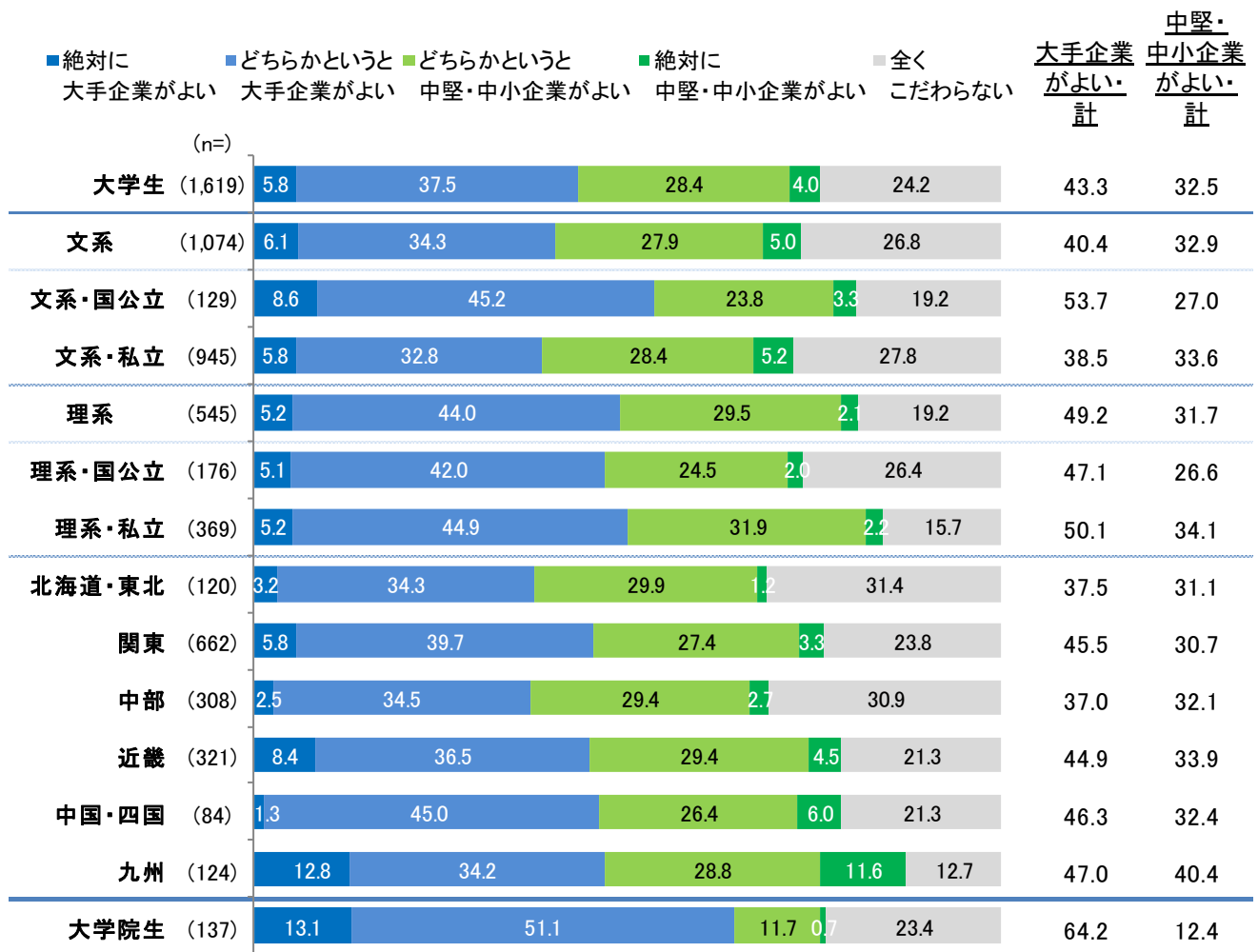
就職活動の開始当初に志望した従業員規模は、大学生の4割前半、大学院生の6割半ばが大手企業がよい・計(*)と回答している。大学生の2割半ば、大学院生の2割前半が「全くこだわらない」と回答している。

属性別にみると、文系の国公立大学生や大学院生では大手企業がよい・計の割合が高い。(図表25)

*「絶対に大手企業がよい」「どちらかという大手企業がよい」の計

図表25 就職活動開始当初の志望従業員規模(単一回答、単位=%)

※企業就職志望者ベース



※大手企業がよい・計:「絶対に大手企業がよい」+「どちらかという大手企業がよい」

※中堅・中小企業がよい・計:「どちらかという中堅・中小企業がよい」+「絶対に中堅・中小企業がよい」

⑰従業員規模の志向

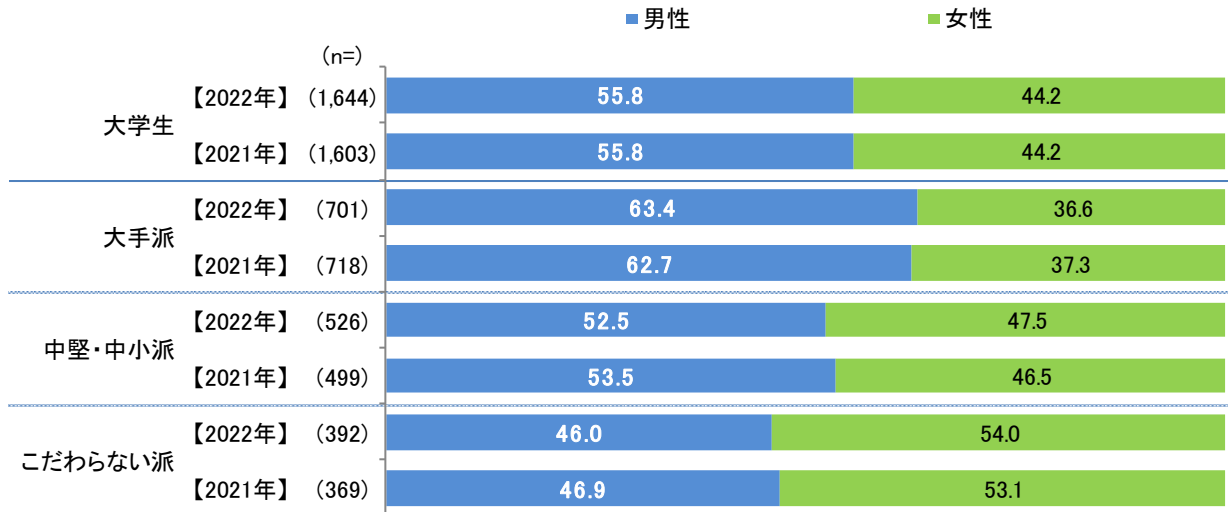
志望従業員規模別の属性は、「大手派」（「絶対に大手企業がよい」「どちらかという大手企業がよい」）では、性別は「男性」、居住地は「関東」の割合が高い。（図表26、27）

志望従業員規模別の就職予定先の納得度は、すべての属性で約9割が納得している・計(*)と回答しているが、「中堅・中小派」は「納得している」の割合が他と比べて低い。（図表28）

*「納得している」「まあ納得している」の計

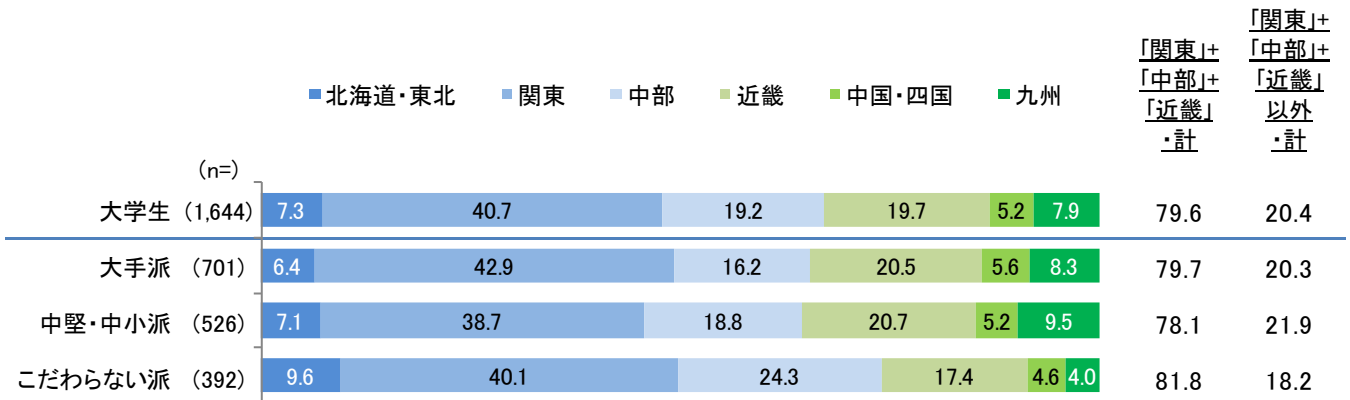
図表26 志望従業員規模別の性別（単一回答、単位=%）

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



図表27 志望従業員規模別の居住地（単一回答、単位=%）

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。

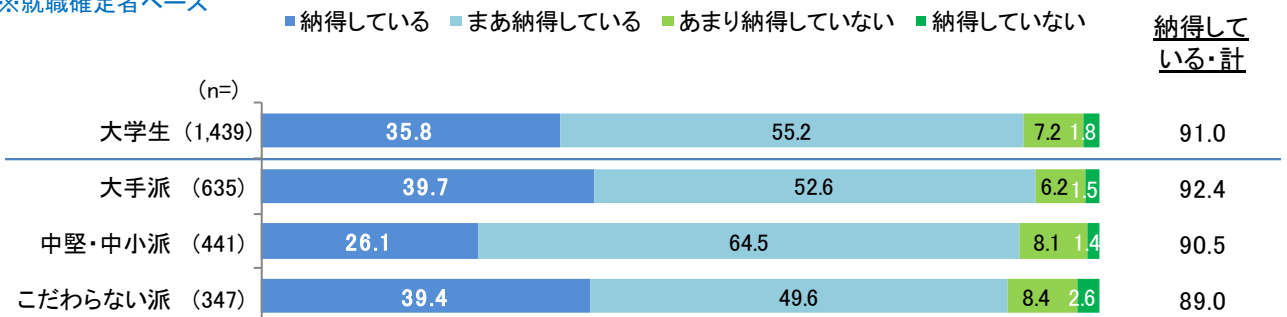


図表28 志望従業員規模別の就職予定先の納得度（単一回答、単位=%）

※就職確定者ベースに限定して聴取。

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。

※就職確定者ベース



※納得している+計:「納得している」+「まあ納得している」

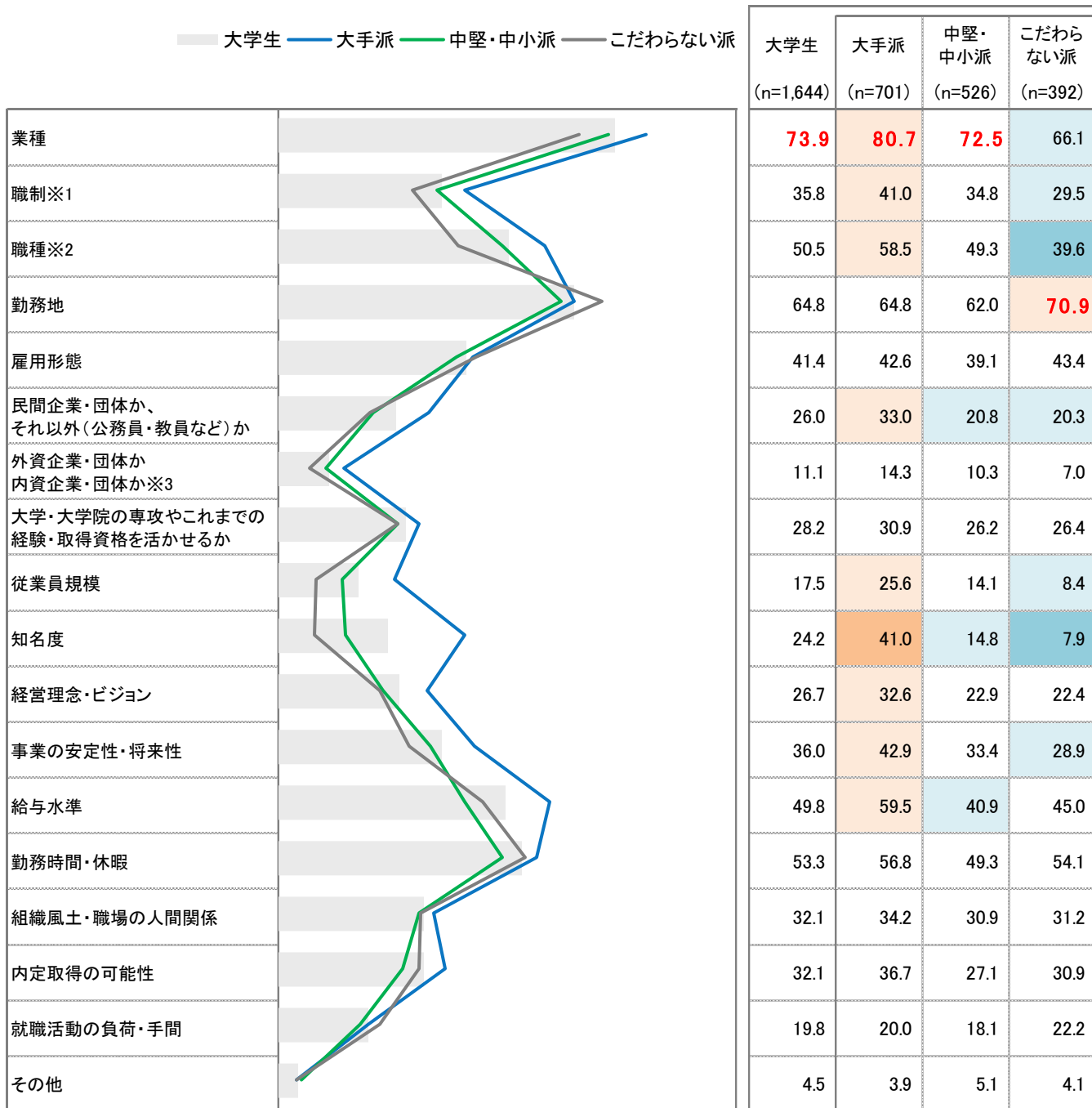
⑰ 従業員規模の志向

志望従業員規模別の就職活動開始当初の重視点は、「大手派」（「絶対に大手企業がよい」「どちらかという大手企業がよい」）、中堅・中小派（「どちらかという中堅・中小企業がよい」「絶対に中堅・中小企業がよい」）で「業種」、「こだわらない派」（「全くこだわらない」）で「勤務地」の割合が最も高い。

大学生全体と比べると、「大手派」では「給与水準」「職種」「事業の安定性・将来性」の重視度が高い。（図表29-1）

図表29-1 志望従業員規模別の就職活動開始当初の重視点（複数回答、単位=%）

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑰従業員規模の志向

志望従業員規模別の就職予定先を選ぶ際の重視点は、「大手派」「中堅・中小派」で「業種」、「こだわらない派」で「勤務地」の割合が最も高い。(図表29-2)

図表29-2 志望従業員規模別の就職予定先を選ぶ際の重視点(複数回答、単位=%)

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



※1:例)総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2:例)営業職、企画職、事務職、技術職など

※3:外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

**インターンシップ・1day仕事体験参加時期は、大学生で「大学3年生8月」の割合が最も高い。
初めて参加した時期は大学生・大学院生ともに「大学3年/大学院1年の8月頃」の割合が最も高い。**

インターンシップ・1day仕事体験参加者におけるインターンシップ・1day仕事体験参加時期は、大学生で「大学3年生8月」の割合が最も高い。属性別にみると、文系・理系ともに私立大学生は「大学3年生12月」の割合が最も高い。(図表30-1)

インターンシップ・1day仕事体験に初めて参加した時期は、大学生・大学院生ともに「大学3年/大学院1年の8月頃」の割合が最も高い。(図表30-2)

図表30-1 インターンシップ・1day仕事体験に参加した時期(複数回答、単位=%)

※インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース

	大学生 (n=)	文系		理系		東 北 海 道 ・ 関 東	中 部	近 畿	四 国 ・ 中 国	九 州	大 学 院 生			
		(871)	国 立 (113)	私 立 (758)	(448)							国 立 (154)	私 立 (294)	
大学入学前	1.4	1.6	0.6	1.7	1.1	-	1.7	4.6	1.3	0.6	1.8	0.5	1.1	0.8
大学1年生	2.7	2.2	1.5	2.3	3.6	2.3	4.2	1.5	3.1	2.1	2.2	4.6	3.0	0.8
大学2年生	8.3	10.5	5.0	11.3	4.0	1.9	5.1	7.4	10.0	10.1	3.5	8.3	8.0	2.5
大学3年生4月	3.7	4.1	5.5	3.9	2.9	0.4	4.2	1.6	3.9	3.5	2.5	4.3	7.3	-
大学3年生5月	4.5	5.0	6.1	4.9	3.3	2.0	4.1	0.8	5.3	4.6	4.1	2.8	5.3	1.7
大学3年生6月	8.1	9.1	9.9	9.0	6.3	6.2	6.3	5.5	9.5	7.0	9.4	5.1	5.5	4.1
大学3年生7月	16.4	18.3	21.5	17.8	12.7	14.7	11.6	12.2	20.1	13.8	12.8	16.9	15.4	4.1
大学3年生8月	26.4	28.3	42.6	26.2	22.7	28.3	19.7	25.1	27.3	28.5	24.1	24.2	25.3	26.4
大学3年生9月	22.1	22.6	23.7	22.5	21.0	23.6	19.7	21.9	24.4	22.8	22.3	21.5	9.4	16.5
大学3年生10月	21.2	22.6	23.6	22.5	18.3	18.1	18.4	27.9	22.4	16.6	23.6	18.9	15.0	5.0
大学3年生11月	19.6	22.3	22.8	22.2	14.5	12.7	15.4	11.7	22.1	18.6	19.8	16.4	17.8	5.8
大学3年生12月	25.2	26.8	25.9	26.9	22.1	16.9	24.8	15.4	28.8	24.2	25.3	23.1	19.6	7.4
大学3年生1月	20.6	21.0	22.9	20.7	20.0	21.7	19.1	19.6	20.6	20.0	23.9	14.5	18.9	8.3
大学3年生2月	16.9	20.1	24.4	19.5	10.6	6.5	12.7	14.9	16.6	20.6	17.8	16.1	10.0	5.0
大学3年生3月	11.0	10.4	8.6	10.6	12.2	9.3	13.8	6.0	11.4	8.4	14.4	7.2	12.9	4.1
大学4年生4月	6.7	5.2	4.7	5.3	9.5	7.3	10.6	8.3	6.9	5.7	6.6	2.8	8.4	2.5
大学4年生5月	4.2	2.5	4.9	2.2	7.5	6.6	8.0	5.5	3.1	3.3	5.5	1.4	8.9	1.7
大学4年生6月	3.7	2.8	2.0	2.9	5.5	8.9	3.7	-	3.7	4.5	4.7	0.9	4.8	4.1
大学4年生7月	1.9	1.4	4.1	1.0	2.9	2.7	3.0	1.9	2.0	2.5	0.9	1.7	2.4	2.5
大学4年生8月	1.7	1.4	2.4	1.2	2.3	1.1	3.0	1.9	2.3	1.6	0.5	1.1	2.1	3.3
大学4年生9月	1.6	1.8	3.8	1.5	1.2	3.1	0.3	1.4	1.8	0.9	0.9	-	4.8	2.5
大学4年生10月	1.4	1.4	1.0	1.4	1.4	2.7	0.7	4.2	1.0	0.4	0.7	4.6	2.4	0.8
大学4年生11月	1.3	0.9	1.0	0.9	2.0	0.8	2.6	0.8	0.8	0.1	1.6	1.1	5.7	1.7
大学4年生12月	1.5	1.7	2.4	1.6	1.0	0.4	1.4	1.9	1.1	0.8	3.1	-	1.4	1.7
大学4年生1月	0.6	0.9	0.7	0.9	0.1	0.4	-	0.8	0.6	0.1	1.0	-	1.1	1.7
大学4年生2月	0.8	0.8	0.7	0.8	0.8	0.4	1.0	0.8	0.6	0.3	1.7	-	1.1	1.7
大学4年生3月以降	1.7	2.0	0.7	2.2	1.3	0.4	1.7	1.6	0.2	3.4	2.6	1.1	4.2	51.2

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を**赤太字**にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

図表30-2 インターンシップ・1day仕事体験に初めて参加した時期(単一回答、単位=%)

※インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース

	大学生	文系			理系	国公立		東北 北海道	関東	中部	近畿	四国 ・ 中国	九州	大学院生
	(n=)	(865)	国公立 (113)	私立 (752)		国公立 (154)	私立 (293)							
大学3年/大学院1年の5月以前	7.6	8.3	7.0	8.5	6.2	5.1	6.8	4.2	8.5	4.4	8.5	5.6	11.9	6.8
大学3年/大学院1年の6月頃	4.4	5.0	4.4	5.1	3.1	5.1	2.0	1.1	4.9	2.9	4.0	5.8	7.5	8.5
大学3年/大学院1年の7月頃	7.3	7.4	10.8	6.9	7.2	11.3	5.0	3.1	8.4	6.5	8.2	7.5	5.1	14.4
大学3年/大学院1年の8月頃	13.0	12.6	21.1	11.3	14.0	12.0	15.0	9.0	14.8	11.3	14.7	16.8	5.9	21.2
大学3年/大学院1年の9月頃	9.0	9.7	4.4	10.6	7.5	5.4	8.6	7.4	10.0	9.6	6.1	2.9	14.4	11.0
大学3年/大学院1年の10月頃	5.8	6.5	4.3	6.8	4.5	4.7	4.4	12.7	6.2	3.2	5.1	8.3	4.2	-
大学3年/大学院1年の11月頃	7.5	7.1	7.8	7.0	8.1	10.6	6.8	8.5	8.2	8.4	6.9	4.4	4.2	4.2
大学3年/大学院1年の12月頃	9.7	9.7	7.6	10.0	9.8	6.7	11.4	12.5	9.7	10.9	9.2	7.3	7.4	3.4
大学3年/大学院1年の1月頃	6.7	5.9	3.7	6.2	8.4	6.3	9.5	3.8	6.4	8.7	6.3	8.1	6.8	3.4
大学3年/大学院1年の2月頃	6.4	6.7	10.3	6.2	5.8	6.2	5.6	6.1	5.6	7.7	7.4	3.6	7.2	4.2
大学3年/大学院1年の3月頃	8.5	8.0	11.6	7.5	9.6	11.3	8.7	5.3	6.0	9.5	10.5	12.9	14.3	6.8
大学4年/大学院2年の4月頃	5.6	4.7	3.5	4.9	7.3	8.5	6.7	10.6	4.9	5.8	5.0	8.5	4.1	4.2
大学4年/大学院2年の5月頃	1.9	2.2	0.9	2.4	1.5	0.4	2.0	3.7	0.9	4.1	2.3	0.5	0.7	2.5
大学4年/大学院2年の6月頃	1.6	1.1	1.1	1.1	2.6	5.4	1.1	4.8	1.4	0.9	0.4	6.6	1.1	4.2
大学4年/大学院2年の7月頃	1.1	1.2	1.4	1.2	0.9	0.4	1.2	1.9	0.6	3.7	0.1	-	0.7	-
大学4年/大学院2年の8月頃	1.3	1.4	0.3	1.6	1.2	-	1.8	-	0.9	1.7	3.0	-	0.7	2.5
大学4年/大学院2年の9月頃	0.9	0.7	-	0.8	1.2	-	1.9	1.1	0.9	0.3	1.5	-	0.7	0.8
大学4年/大学院2年の10月頃	0.9	0.8	-	0.9	1.1	0.4	1.5	0.8	1.0	0.3	0.2	1.3	3.1	1.7
大学4年/大学院2年の11月以降	0.7	0.9	-	1.1	0.1	0.4	-	3.4	0.7	-	0.5	-	-	-

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

インターンシップ・1day仕事体験の認知きっかけは「就職情報サイト／就職情報アプリ／就職情報誌」の割合が最も高い。参加期間は、大学生・大学院生ともに「1日」の割合が最も高い。

インターンシップ・1day仕事体験を認知したきっかけは、大学生・大学院生ともに「就職情報サイト／就職情報アプリ／就職情報誌」の割合が最も高い。(図表31)

インターンシップ・1day仕事体験の参加期間は、大学生・大学院生ともに「1日」の割合が最も高い。大学院生では大学生に比べて「2日」「3日以上1週間未満」の割合が高い。(図表32)

図表31 インターンシップ・1day仕事体験の認知きっかけ(複数回答、単位=%)

※インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース

	大学生 (n=)	文系		理系	理系		東北 北海道・ 関東	中部	近畿	四国 中国・ 九州	九州	大学院生		
		国公立	私立		国公立	私立								
企業／官公庁／組織・団体等のサイト	31.7	29.3	35.2	28.4	36.3	45.1	31.8	28.0	32.4	30.2	35.4	28.7	27.5	33.1
大学	35.3	33.7	25.7	34.9	38.5	44.3	35.5	36.1	30.8	43.0	34.3	49.0	34.3	28.1
就職情報サイト／ 就職情報アプリ／就職情報誌	55.9	59.3	65.3	58.4	49.3	40.4	54.0	47.7	62.9	53.6	57.7	41.8	38.0	64.5
インターンシップ・1day仕事体験 斡旋団体(NPO含む)のサイト等	10.1	8.8	13.5	8.1	12.5	14.0	11.8	8.4	8.7	6.5	15.8	8.0	13.2	12.4
ソーシャルメディア(Facebook、 Twitter、LINE、Instagram等)	4.4	4.4	3.5	4.5	4.3	2.0	5.5	6.1	4.2	3.7	3.8	6.3	5.5	1.7
その他	0.7	0.8	0.3	0.8	0.5	0.4	0.5	-	1.1	0.9	0.4	-	-	-

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

図表32 インターンシップ・1day仕事体験の参加期間(複数回答、単位=%)

※インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース

	大学生 (n=)	文系		理系	理系		東北 北海道・ 関東	中部	近畿	四国 中国・ 九州	九州	大学院生		
		国公立	私立		国公立	私立								
1日	71.3	72.4	69.8	72.8	69.0	58.2	74.7	55.7	74.3	69.4	73.2	60.7	75.3	74.4
2日	18.5	20.8	28.1	19.8	13.8	12.3	14.6	25.3	18.9	18.7	17.5	9.3	17.4	33.9
3日以上1週間未満	21.1	22.9	23.2	22.8	17.6	25.1	13.7	18.4	21.5	22.6	21.7	28.5	12.5	30.6
1週間以上2週間未満	11.0	8.7	10.6	8.4	15.5	17.5	14.4	14.1	12.5	9.6	8.4	8.2	12.3	8.3
2週間以上1ヶ月未満	4.8	4.0	4.6	3.9	6.2	6.6	5.9	4.8	3.3	4.9	7.2	9.0	3.2	8.3
1ヶ月以上3ヶ月未満	2.5	2.6	0.6	2.9	2.4	0.4	3.4	1.4	3.1	0.3	4.6	1.1	1.4	5.0
3ヶ月以上	2.3	2.1	4.3	1.7	2.9	2.3	3.2	0.9	2.4	1.0	3.4	-	5.3	2.5

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

インターンシップ・1day仕事体験先を選ぶ際の重視点は、大学生・大学院生ともに「業種」の割合が最も高い。

インターンシップ・1day仕事体験先を選ぶ際に重視した点は、大学生・大学院生ともに「業種」の割合が最も高い。

属性別にみると、大学院生は大学生と比べて「企業名」の重視度が高い。(図表33)

図表33 インターンシップ・1day仕事体験先を選ぶ際に重視した点(複数回答、単位=%)

※インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース

	大学生 (n=)	文系 (871)	国公立 (113)	私立 (758)	理系 (448)	国公立 (154)	私立 (294)	東北 北海道 (94)	関東 (541)	中部 (239)	近畿 (267)	四国 中国 (65)	九州 (113)	大学院生 (121)
業種	56.2	55.0	48.6	56.0	58.5	59.8	57.7	46.0	58.2	60.8	52.1	52.3	57.1	64.5
職種	40.1	39.0	38.3	39.1	42.3	43.8	41.5	44.1	42.0	37.3	45.5	39.3	21.2	43.8
会場(地域・場所)	30.9	30.3	27.9	30.7	32.2	30.5	33.0	35.2	30.4	28.0	31.5	30.1	35.3	36.4
インターンシップ・ 1day仕事体験内容	37.0	37.6	46.7	36.2	35.9	38.6	34.5	36.4	38.9	25.3	45.2	32.4	36.7	42.1
企業・各種団体等の 規模	12.9	11.3	19.0	10.1	16.0	18.1	14.9	21.9	11.5	7.0	17.4	13.6	13.3	8.3
企業名	18.0	18.3	23.5	17.5	17.5	17.8	17.3	18.1	17.1	12.9	25.4	13.7	17.9	36.4
日程・期間	22.8	23.8	24.3	23.7	21.1	15.5	24.0	20.5	24.1	19.9	25.6	16.4	22.5	29.8
報酬	4.0	3.4	6.0	3.0	5.0	6.2	4.4	1.8	5.0	4.9	2.3	2.5	3.5	1.7
採用選考に直結 するかどうか	13.0	13.4	13.4	13.4	12.0	10.8	12.7	14.4	13.8	12.1	12.1	11.7	12.3	14.0
その他	0.5	0.6	0.6	0.6	0.1	0.4	-	-	0.3	-	1.2	0.5	0.9	-

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

インターンシップ・1day仕事体験の参加目的は、大学生は「業種理解」、大学院生は「仕事理解」の割合が最も高い。

インターンシップ・1day仕事体験の参加目的は、大学生は「業種理解」、大学院生は「仕事理解」の割合が最も高い。

属性別にみると、理系の国公立大学生、地域別では中部、中国・四国の大学生で、「仕事理解」の割合が高い。
(図表34)

図表34 インターンシップ・1day仕事体験の参加目的(複数回答、単位=%)

※インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース

	大学生 (n=)	文系		理系	理系		東北 北海道	関東	中部	近畿	四国 中国	九州	大学院生		
		国公立	私立		国公立	私立									
業種理解	(1,320)	51.4	51.6	47.9	52.2	50.9	46.1	53.4	49.5	52.7	48.3	53.4	43.1	53.3	61.2
仕事理解	48.1	48.5	43.1	49.3	47.4	48.9	46.6	43.4	47.3	49.9	52.5	49.0	41.5	62.8	
企業・各種団体等の 事業内容理解	28.7	28.9	35.2	28.0	28.2	27.4	28.7	17.2	30.6	24.4	34.0	33.4	22.8	42.1	
企業・各種団体等・ 職場の雰囲気を知る	26.6	25.2	30.2	24.4	29.3	27.0	30.6	27.1	26.3	24.8	31.0	22.8	23.0	40.5	
自分のスキルの見極め	15.1	15.4	14.2	15.6	14.5	10.5	16.6	23.6	14.0	18.5	9.9	12.1	19.9	19.0	
自分自身のキャリア 観を明確にする	13.5	14.8	17.3	14.5	10.8	15.9	8.2	18.4	11.6	11.5	11.7	21.9	22.0	19.8	
大学カリキュラムの 単位取得	7.4	7.7	10.1	7.4	6.7	3.5	8.4	2.7	9.1	6.5	7.2	4.2	7.0	5.0	
内定獲得(採用直結)	17.3	17.6	20.1	17.3	16.6	12.7	18.6	17.9	15.4	14.5	27.3	10.2	12.2	19.8	
社会人との人脈構築	7.4	7.0	9.5	6.6	8.3	12.5	6.1	12.5	7.0	6.2	8.6	9.3	3.7	6.6	
他の就職活動生との 人脈構築	4.0	3.8	4.6	3.7	4.4	9.0	2.0	6.7	3.1	4.3	6.5	0.5	1.6	3.3	
報酬	1.8	1.6	1.2	1.7	2.0	2.0	2.0	0.3	1.4	2.0	1.6	-	5.5	1.7	
その他	0.1	0.1	0.3	0.1	-	-	-	-	0.1	-	-	-	0.7	-	
特に意識していた目的 はなかった	8.9	8.8	6.3	9.2	9.1	6.2	10.6	3.1	11.1	9.0	8.2	5.5	6.7	4.1	

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

インターンシップ・1day仕事体験に参加してよかった点は、大学生は「業種について具体的に知ることができた」、大学院生は「仕事内容を具体的に知ることができた」の割合が最も高い。

インターンシップ・1day仕事体験に参加してよかった点は、大学生は「業種について具体的に知ることができた」、大学院生は「仕事内容を具体的に知ることができた」の割合が最も高い。

地域別にみると、北海道・東北の大学生は、他の地域と違い「仕事内容を具体的に知ることができた」の割合が最も高い。(図表35)

図表35 インターンシップ・1day仕事体験に参加してよかった点(複数回答、単位=%)

※インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース

	大学生	文系		理系		北海道・東北	関東	中部	近畿	四国・中国	九州	大学院生		
	(n=)	国立	私立	国立	私立									
業種について具体的に知ることができた	50.4	50.0	46.1	50.6	51.2	48.1	52.9	41.2	50.8	47.8	55.4	49.8	50.1	57.9
仕事内容を具体的に知ることができた	42.4	42.1	44.7	41.8	43.1	42.6	43.3	50.1	40.4	47.0	45.3	42.2	29.5	59.5
企業・各種団体等の事業内容を具体的に知ることができた	27.9	29.6	30.6	29.4	24.5	19.7	27.0	15.0	30.5	25.7	32.3	24.0	22.3	42.1
企業・各種団体等・職場の雰囲気を知ることができた	26.7	26.0	33.1	24.9	28.1	23.1	30.7	26.0	25.9	29.9	25.1	16.7	33.4	34.7
自分のスキルを見極めることができた	17.2	17.8	17.2	17.9	16.1	12.8	17.9	23.5	14.3	20.3	18.2	25.2	12.7	13.2
自分自身のキャリア観を明らかにすることができた	15.9	16.5	23.5	15.5	14.6	16.3	13.8	19.2	14.3	15.1	19.9	18.0	11.5	13.2
インターンシップ・1day仕事体験に参加した企業・各種団体等から内定取得できた	14.3	14.3	13.8	14.3	14.5	20.5	11.4	24.7	13.8	11.7	16.4	12.0	10.6	12.4
社会人との人脈を作れた	5.8	5.2	7.2	4.9	7.1	10.5	5.3	14.5	5.5	3.0	6.9	3.0	5.0	4.1
他の就職活動中の学生との人脈を作れた	4.1	3.2	6.3	2.7	5.8	6.2	5.6	9.8	2.5	2.0	8.6	1.7	2.0	1.7
その他	0.1	0.2	0.3	0.2	-	-	-	-	0.1	-	0.1	-	0.7	0.8
特になし	12.5	13.0	10.1	13.4	11.5	11.7	11.5	8.0	15.2	10.2	13.4	5.4	10.4	9.1

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

**インターンシップ・1day仕事体験で参加した企業への入社予定は、大学生は3割後半。
理系大学生では、約8割がインターンシップ・1day仕事体験参加企業または同業種の企業に入社。**

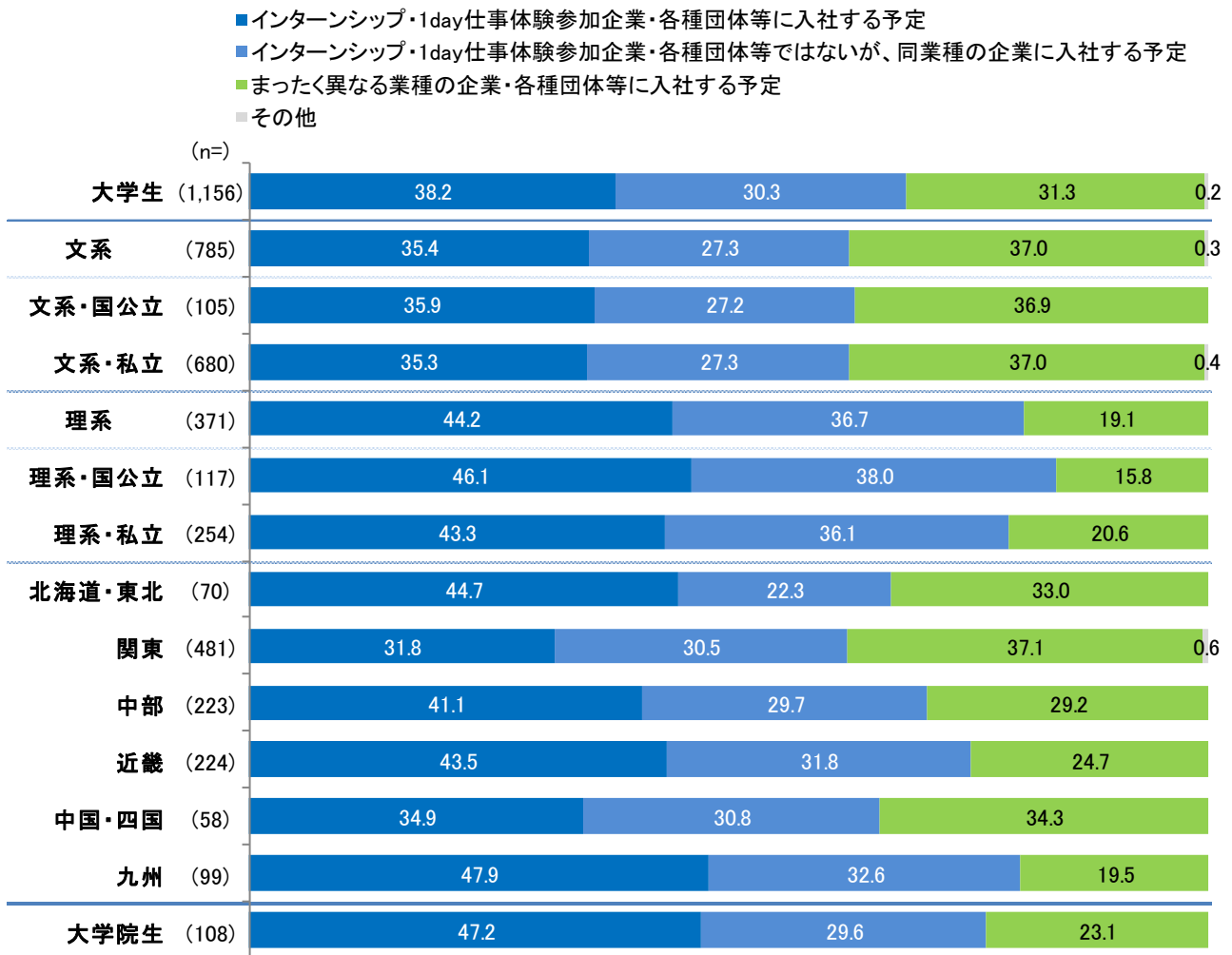
インターンシップ・1day仕事体験で参加した企業／同業種の企業への入社予定は、大学生は「インターンシップ・1day仕事体験参加企業・各種団体等に入社する予定」が3割後半で最も高い。

属性別にみると、文系大学生では「まったく異なる業種の企業・各種団体等に入社する予定」の割合が高い。理系大学生では「インターンシップ・1day仕事体験参加企業・各種団体等に入社する予定」「インターンシップ・1day仕事体験参加企業・各種団体等ではないが、同業種の企業に入社する予定」合わせて約8割。

大学院生は「インターンシップ・1day仕事体験参加企業・各種団体等に入社する予定」が4割後半であり、大学生よりも高い。(図表36)

図表36 インターンシップ・1day仕事体験で参加した企業／同業種の企業への入社予定(単一回答、単位=%)

※就職確定者で、インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース



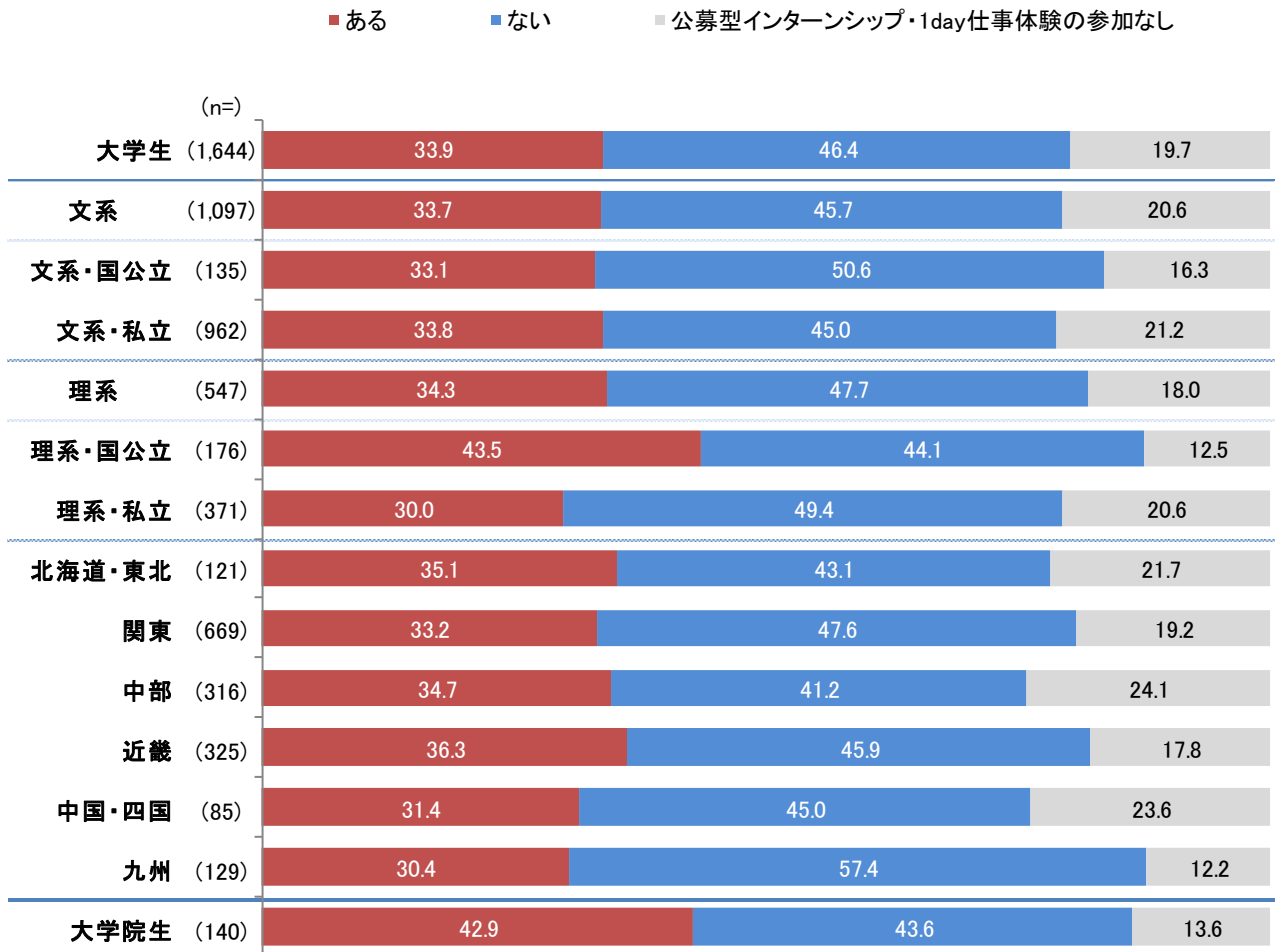
⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

インターンシップ・1day仕事体験と学業の日程の重複経験は、大学生の3割前半が「ある」。理系の国公立大学生や大学院生は「ある」の割合が高い。

インターンシップ・1day仕事体験と学業の日程が重複した経験は、大学生の3割前半が「ある」と回答している。

属性別にみると、理系の国公立大学生や大学院生では、重複した経験が「ある」の割合が高い。(図表37)

図表37 インターンシップ・1day仕事体験と学業の日程が重複した経験(単一回答、単位=%)



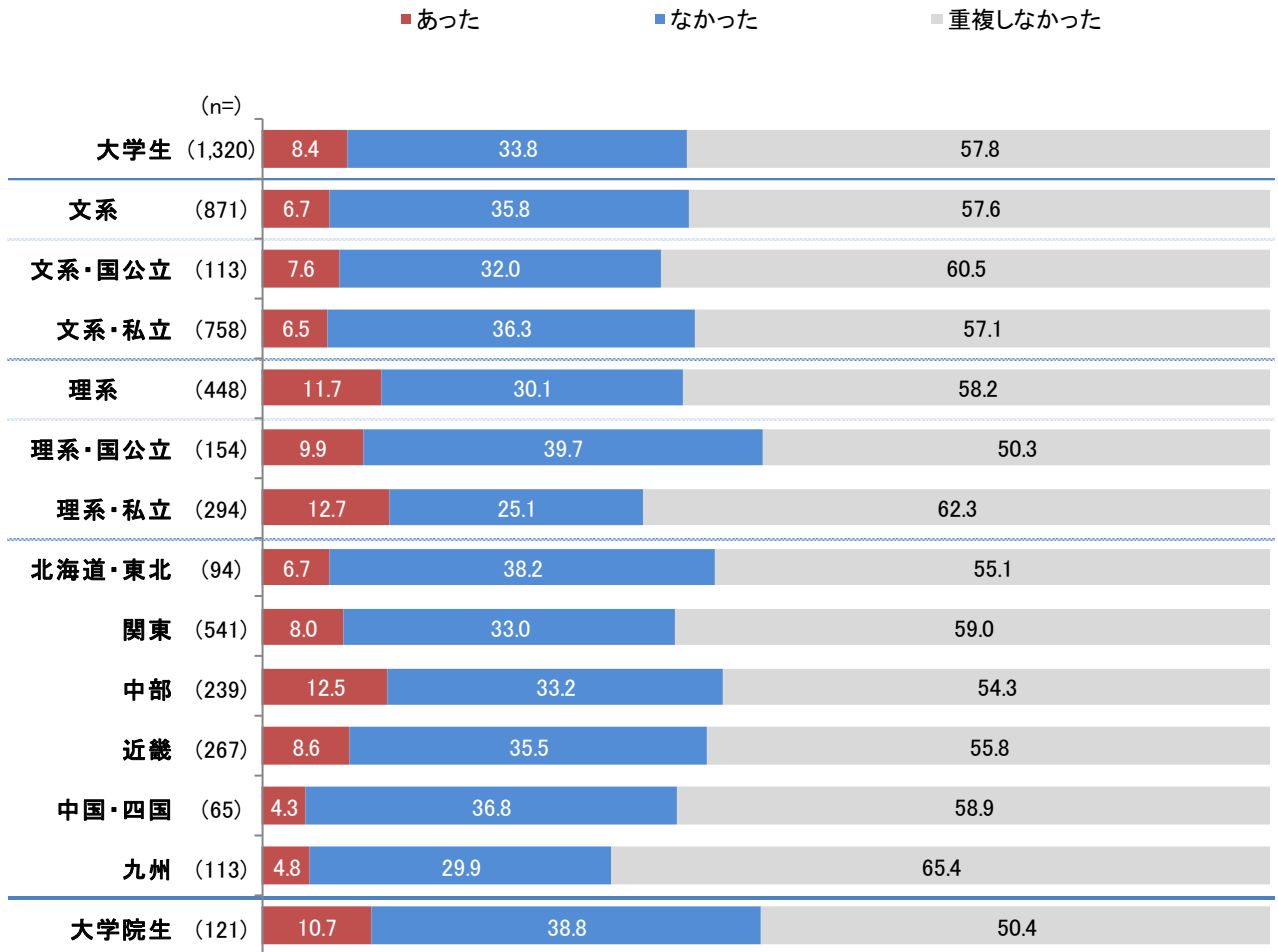
⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

インターンシップ・1day仕事体験と学業の日程が重複したことによる学業への支障が「あった」の割合は、大学生では1割未満と少ない。

インターンシップ・1day仕事体験と学業の日程が重複したことで学業への支障が「あった」の割合は、大学生では1割未満。

属性別にみると、理系大学生や大学院生では、「あった」が1割を超えていてやや高い。(図表38)

図表38 インターンシップ・1day仕事体験と学業の日程が重複したことで学業への支障があったか(単一回答、単位=%)
※インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース



⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

学業と日程が重複したインターンシップ・1day仕事体験の開催時期は、属性に関わらず「学期期間（平日）」の割合が最も高い。

学業と日程が重複したインターンシップ・1day仕事体験の開催時期は、属性に関わらず「学期期間（平日）」の割合が最も高い。

属性別にみると、文系大学生と比べて理系大学生は「学期期間（休日）」や「休暇期間」の割合が高い。（図表39）

図表39 学業と日程が重複したインターンシップ・1day仕事体験の開催時期（複数回答、単位=%）

※学業の日程とインターンシップ・1day仕事体験が重複した方ベース

n=		学期期間（平日）	学期期間（休日）	休暇期間（夏季休暇、冬季休暇など）
大学生	558	78.5	26.4	16.1
文系	370	78.9	23.0	13.4
国公立	45	81.9	24.7	14.0
私立	325	78.5	22.8	13.3
理系	188	77.8	33.1	21.4
国公立	77	75.5	35.1	19.8
私立	111	79.3	31.7	22.5
北海道・東北	42	77.1	24.7	5.3
関東	222	78.2	27.1	17.1
中部	109	78.6	18.5	19.8
近畿	118	84.4	28.9	14.6
中国・四国	27	49.1	53.6	25.2
九州	39	83.8	20.2	9.4
大学院生	60	85.0	11.7	16.7

* 属性ごとに選択率が最も高い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色■で網掛けした。

（回答者数が30未満のスコアを除く）

* 回答者数が30未満の値は灰色にした。

⑱ インターンシップ・1day仕事体験の参加状況

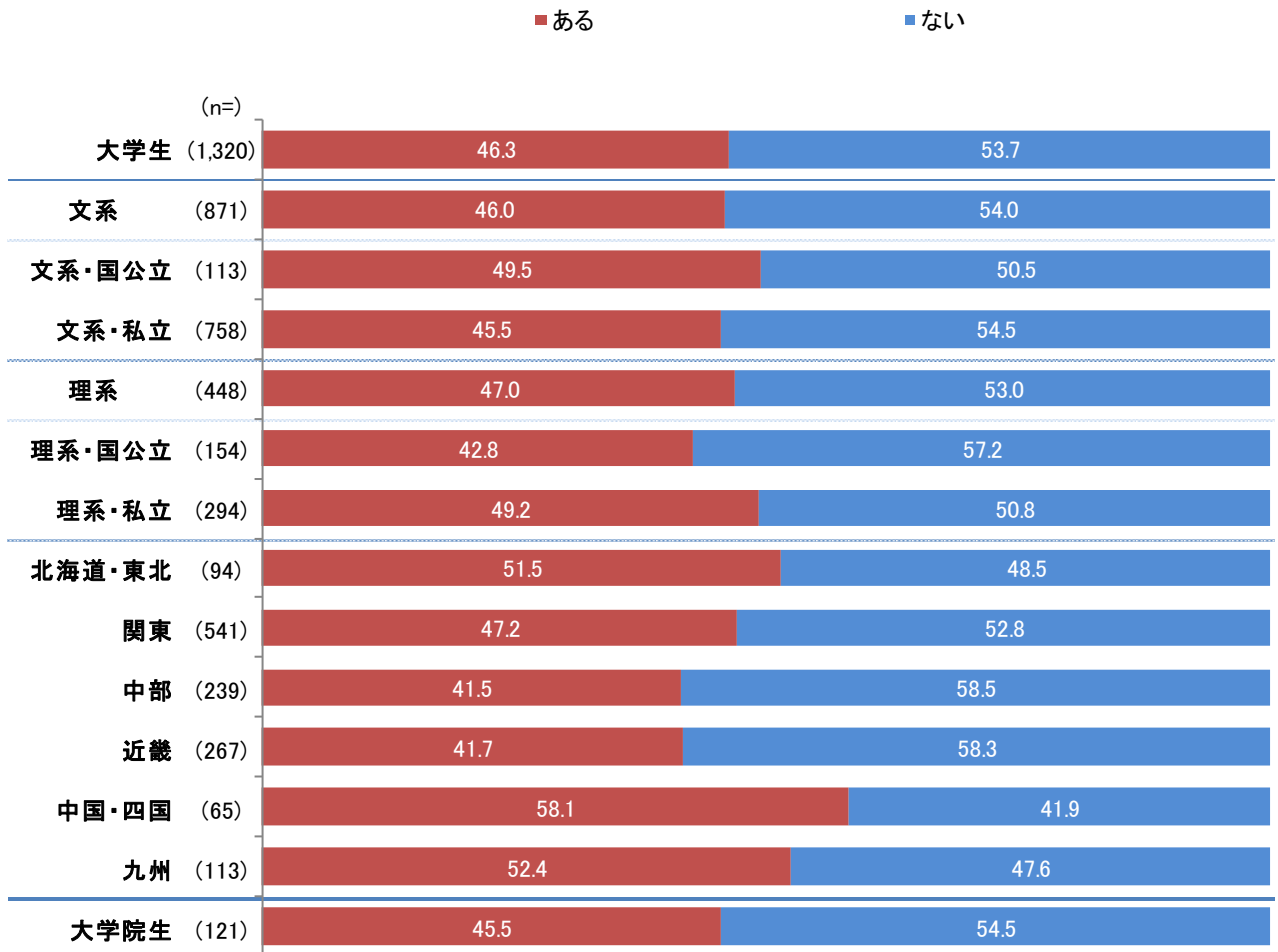
インターンシップ・1day仕事体験における就業体験は、大学生の参加者の4割半ばが「ある」と回答している。

インターンシップ・1day仕事体験における就業体験(企業の実務を体験すること)は、大学生の参加者の4割半ばが「ある」と回答している。

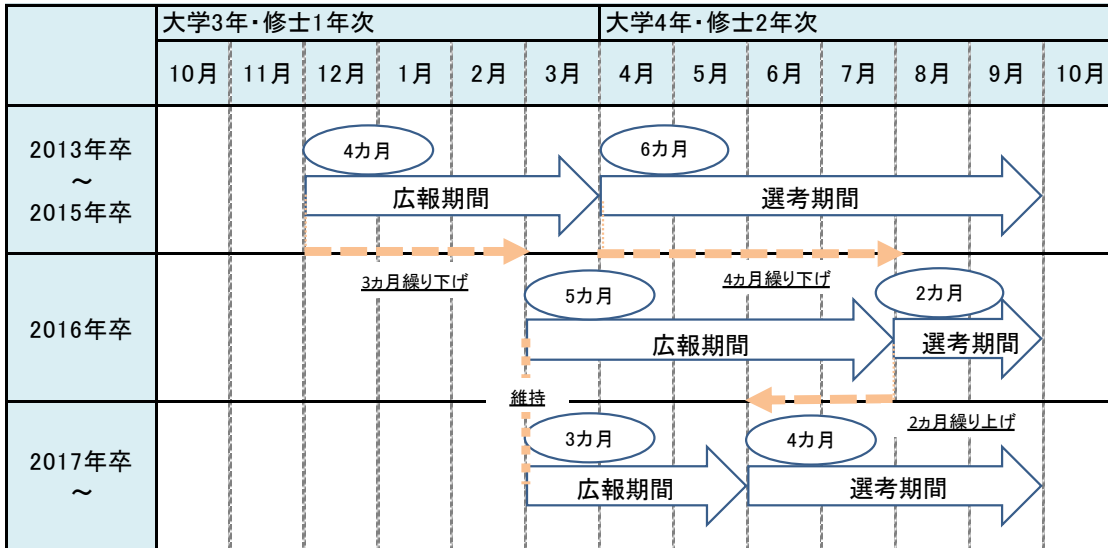
属性別にみても、文系・理系の大学生ともに4割半ばで大きな差はない。(図表40)

図表40 インターンシップ・1day仕事体験での就業体験(企業の実務を体験すること)有無(単一回答、単位=%)

※インターンシップ・1day仕事体験参加者ベース



●2013年卒以降のスケジュール変更の詳細



●調査備考

《地域区分の内訳》

- 北海道・東北＝ 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 関東＝ 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- 中部＝ 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
- 近畿＝ 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 中国・四国＝ 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州＝ 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

《調査集計の留意点》

%を表示するために小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値や差の数値と計算値が一致しない場合がある。

●公益社団法人全国求人情報協会とは

公益社団法人全国求人情報協会(理事長:鈴木 孝二 略称:全求協)は、1985年2月に設立。全国の求人サイト・求人情報誌・折込求人紙を運営・発行する61社の会員で構成されており、自主規制のための掲載基準作成、求人情報に関する苦情・相談業務や調査・研究などの活動を実施。

●新卒等若年雇用部会とは

新卒等若年雇用を巡る問題が我が国の労働市場における大きな課題となる中、その課題に取り組むための専門部会として、2013年に「新卒等若年雇用部会」を設置。マッチングの高度化を通じ、よりよい就職・採用がスムーズ行われるよう、とりわけ集团的就職活動特有の課題をまとめ、様々なアクションプラン等を検討、実行している。

●公益社団法人全国求人情報協会 新卒等若年雇用部会 会員企業 (社名五十音順)

株式会社アクセスネクステージ、株式会社イフ、株式会社学情、株式会社KG情報、株式会社 広済堂HRソリューションズ、株式会社ジェイ・ブロード、株式会社ダイヤモンド・ヒューマンリソース、株式会社ディスコ、株式会社文化放送キャリアパートナーズ、株式会社北海道アルバイト情報社、株式会社マイナビ、株式会社リクルート